

① 篠木地域づくり懇談会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	<p>①公共交通について、総論としてはそのとおりである。しかし、この地域の実状をどの程度認識し、どういう計画を持っているのか。せいぜい田沢湖線があるということしか触れていない。ここはバスはほとんど使えない。田沢湖線を最近利用しているが、様々な不便を感じる。その点について、市の見解を聞きたい。田沢湖線は昼間3時間運行していない。午前中に盛岡へ行って帰ってこようと思っても無理である。市だけじゃ無理であり、いかにJRと交渉するか。最低1時間1本以上は、できればワンマンでも良いから走らせる。雫石と盛岡の間を市が率先して雫石町とも連携しながら進めてほしい。</p> <p>②夜、道路が田んぼの真ん中で真っ暗だから街灯をちゃんとつけてほしい。女性でも子供でも帰り道、冬だと我々ですら怖い。道路の横に落ちこちそうなるくぼみがあったり、歩道の真ん中に電柱があったりと歩行者のことを考えていない歩道である。そういうところも含めてきちんと点検をして利用しやすいようなアクセス道路にしてほしい。ここを通りなさいというような場所を設定、或いは整備をするというようなことまで考えていただかないと利用する気にならない。田沢湖線を利用するようにしている。盛岡まで5～6分で行けるので下手な都会よりも便利なのに住んでみると不便である。篠木に住んでいたい。急いでやっていただかないと困る。鉄道は地域住民の足である。</p>	<p>公共交通は最寄りまで歩いていくところが一つの考え方である。しかし、高齢者が歩くのが大変だということなどもあると考えられる。その中で公共交通なのか福祉なのかという考えがあるが、まずは小需要交通の中で課題を見出ししていきたい。例えば、バスがないから大釜駅までは乗り合いタクシーを利用するなどの仕組みを考えていきたい。小需要計画と課題を一緒にとらえて考えていく。</p>	都市政策課 防災防犯課 道路課	<p>①例年、JRからの要望調査に対して、田沢湖線の増便について要望しておりますが、引き続き地元自治会の意見を踏まえJRに要望してまいります。</p> <p>②防犯灯設置につきましては毎年各自治会から数多くの要望を頂戴しており、周辺環境や通行量などから必要性を判断した上で優先順位をつけ、予算の範囲内で実施しております。しかし、近年特に既設の防犯灯の交換等が増えており、修繕費が事業費を切迫している状況であることから、頂いている設置要望の多くにお応えできていないのが現状です。今後についても修繕の状況を踏まえ、各地区から頂いた要望について可能な限り対応いたします。</p>	
2	<p>市内に街灯は現在何本あるのか。調べてみたら、村の時代は5千本あったようである。今は1万本くらいあるのではないか。街灯がないのであれば、そっちも増やせばよいのではないか。LEDにすれば電気料も抑えられるのではないか。</p> <p>電車が3時間ないことについて、営利を目的にしている会社だと採算が取れないということで本数を増やせないのではないか。帰ってくる時に夜の22時半の電車は良かった。新幹線に連動するような時刻表にすれば1時間に1本はできるのではないか。交通の空白地帯が無いということは素晴らしいことである。</p>	<p>滝沢市内ではタクシーを大体の地域で呼ぶことができるため空白地域はないとしている。</p>	防災防犯課 都市政策課	<p>防犯灯については、現在市内に約5,500基設置しており、90%以上LED化しております。防犯灯の電気料金は燃料調整費変動の影響も大きいですが、LED化により電気料は削減されております。</p> <p>今後の新規設置につきましては、各自治会等からの要望をもとに、必要に応じて実施いたします。</p>	
3	<p>産業の現状について、10年間で61事業所が減少となっているが、新型コロナウイルス感染症による影響での倒産はあるのか。</p>	<p>直接的に新型コロナウイルス感染症による影響を受けての倒産はない。</p>	企業振興課	-	
4	<p>産業振興条例制定後、どのような方向性で具体的に進めていくのか。</p> <p>IT関係は、県大前にイノベーションセンターを整備し成功した事例であるが、どのような企業を呼ぼうとしているのか。ほかの振興策はないのか。例えば、スポーツの面から考えた場合、体育館活用、空き家を合宿所等として活用するなど、高速道路も近いので全国から呼ぶなど考えられないか。産業というと工業だけではなく人を集める仕組みづくりを考える。そのために協力隊も必要なのかもしれないが、具体的な良い案が出る。そこも含めて、幅広くかつ具体的に考えていただきたい。できるだけ早いうちに大まかなところを出していただいて、持ってきていただければ市民も提案が出せるのではないか。</p> <p>滝沢だけでなく、岩手は良いところがあるのに呼び方が下手である。リモート等も積極的に活用して、ここも使いながらなんか考えていたらよいと思う。</p>	<p>皆様とお話し合いをする場を設け、総合計画に反映させていき、その中で各施策として実行計画で各担当課で詳しく企画にさせていきたい。</p> <p>IT企業と市内の事業者を連携させて、次のステップに向かって、創意工夫をという風に考えている。観光について、当市に宿泊施設がないことから、どうやって人を呼び込むかということでグリーンツーリズムで農家の皆さんと連携をしているところである。しかし、なかなか発展しない。人を呼び込むためにどうしたらよいか考えていきたい。</p>	企業振興課	-	

5	<p>市長の挨拶で、市民の70%が健康に関心がないと発言していたが本当なのか。自分で考えればわかることだが、自分で自分の体を鍛えていくことが必要である。筋肉は再生できるが骨は壊しちゃいけないのである。</p>	<p>統計の結果そうになっている。結構自分の健康について考えていない人が多い。そういう方々にどうやって自分の健康を考えてもらうか。毎月28日は岩手県減塩・適塩の日であるが皆さんはご存じであるか。岩手県は塩を摂る量が全国トップクラスであり、それに伴い脳血管疾患もトップクラスである。原因と結果がこれだけはっきりしていることをわかっていないのが現状である。このようなことがいっぱいある。健康に関して意外にも無関心なのである。体を動かすことは単純なことだが、実践していない人が多い。40代から筋肉が減っていくので肉を食べましょうということをお伝えして市民を健康にしていこうと思っている。健幸アンバサダーをどんどん増やしていこうと思っている。先週50名程の方々に任命したところである。充実した人生の基本は健康である。滝沢市に住んで良かったなと思ってもらいたい。</p>	<p>健康づくり政策課 健康推進課</p>	<p>筑波大学久野研究室の調査によると、「生活習慣病予防のために必要な運動をしていない方（運動をしている方は含まない）のうち、7割程度は運動意思を持っていないということがわかりました。久野研究室ではこの層を「健康づくり無関心層」と呼び、この層の行動変容を促すことが必要と提案しています。一方、令和2年10月に厚生労働省から発表された調査結果によると、運動習慣についての改善への関心やその意向が無い人は、20歳以上の男女の約4割に上るとされ、同様に、この層の行動変容を促す対策が必要としています（この健康に無関心な層を「健康無関心層」と表現する場合があります）。これらの調査結果では、分母に違いがあるため共通基準での比較はできませんが、本市ではスマートウエルネスシティを目指す取り組みの一環において、筑波大学久野研究室の研究結果を用いて説明してきたところ、今後は厚生労働省の研究結果も併せ、より分かりやすい説明に努めてまいります。</p>	
6	<p>道路の速度規制について、様々な要件があると思うが、どの窓口で受け付けているのか。大釜駅の跨線橋から土洩の跨線橋の間の市道だと思うが、見通しが良いためにスピードを出す車がいる。農作業時期なんかは駐車もして危険だなと常日頃から思っている。40km制限に抑えるような標識をつけるとか何かしてもらえればと思っている。4m道路で中央線も無い。</p>	<p>速度規制については、公安委員会で定めることになっています。現場からちょっと行ったところが盛岡市との堺になっている。速度規制については公安委員会に話をしてみないとわからない。交通量などの基準があると思われる。市道であれば線を引く、速度を出させないなどイメージ頒布ができるが、盛岡市と共有してみないとわからない。看板設置等の注意喚起の方法があるが、担当が防災防犯課であり伝える。40km制限を設けるということではよろしいか。</p>	<p>防災防犯課</p>	<p>速度規制は警察の管轄となりますが、生活道路においては歩行者・車両の通行の実態や交通事故の発生状況等を勘案することです。また速度注意等の注意喚起の看板については、基本的に自治会など地域での設置をお願いしております。</p>	
7	<p>県道16号線の交通量が増えており、篠木から県道に出る際に右折できない。右折できても坂があるため、曲がってもすぐ後ろにつけられたり、曲がってすぐに横をすり抜けられたりして危険である。信号機の設置をお願いしたい。 篠木坂も同じで、スクールガード等が立っている時は良いが、立ってなくても子供たちは通るため、子供達のために、篠木坂を降りる車の速度が危険だから一時停止の標識をつけてほしい。何も無いとなぜ悪いのかと居直られる。</p>	<p>速度を落とせという標識はある。駐在所にも話している。警察にも、防災防犯課にも伝えている。駐在所一人だと何もできない。</p>	<p>防災防犯課</p>	<p>信号機の設置につきましては毎年警察に要望しておりますが、現状では交通量が設置基準に満たないとのことです。篠木坂につきましては一時停止規制箇所ではないため、横断歩道手前において看板等での注意喚起が適切と考えております。</p>	

8	大釜駅前の賑わい創出を実現するためには、この状況でも住民が集まれる場所を作らなければならないのではないかと。そのためには市から県に要望してもらっているようだが、大釜駐在所を駅前に持ってこないといけないと思う。JA、ごみステーション界隈にしか土地がなくなってきた。もっと積極的に土地を借りるなど土地を確保した上で動いてほしい。県ではなかなかできないと思っている。お金の関係もあるからあまり言えないが早めに手を打っていただきたい。	—	防災防犯課	駐在所の移転については、岩手県警察組織規程第14条により、警察署長が必要と認めた場合、移転理由、経費、住民動向等を明らかにして警察本部長に上申し、承認を受けなければなりません。よって今後も盛岡西警察署に対し、住民要望として伝えていきます。	
9	今、滝沢市内にスクールガードが340人位いる。冬とか寒い中でも活動してもらっている。前市長の時にも話をしたが、防寒着・ユニフォームを貸与してほしい。340人一気にではなく、学校毎にやるとかでよいと思う。予算の取れる範囲内で3～4年かけても良いので進めてほしい。スクールガードの地域の方々の高齢化が進んでいて、見守り活動が中心とはいえ、道路に立ちっぱなしである。寒さに耐えられないので、自前でやっている。何か制服など統一した方が良いのではないかと。貸与できないものか善処していただきたい。	—	学校教育指導課	スクールガード登録者に対しては、ボランティア保険の加入、ベスト・帽子の貸与、身分証明書の発行を行っておりますが、防寒着・ユニフォームにつきましては各自でご準備いただいているところであります。日々、児童生徒の安全のため、熱意を持って活動していただいているスクールガードの方々に感謝申し上げるとともに、引き続きボランティアとしての活動であることにご理解をいただき、児童生徒の健やかな成長のため、可能な範囲でご協力を賜りますようお願いいたします。	
10	県道について、滝沢郵便局のところの曲がるカーブであるが、大型トレーラーが通りすれ違うのも怖い状況である。	県に継続して要望を行っており、現在事業が進められている。商工会からJAの十字路まで測量中である。大型でも通りやすいように幅を広げる予定であり、大沢まで進められている。引き続き県に対し要望していく。	道路課	—	
11	消防防災関係となるが、稲作の時期は水路に水がきているが、火災等あった場合の消火栓が足りない。前にも同様の提案をしたがこの路線は次にと言われた経緯があるが、元から住んでいる地域には消火栓が足りない。市の方で新しい水道管16mmに変えているようだが、昔の家には13mm水道管が入っている。それも2軒合同で使っているような家もまだある。そこはどのように計画しているのか。 防火水槽はあるが、消火栓は足りない。綾織、参郷の森などの地区である。	調べて回答する。	防災防犯課 水道整備課	消火栓の新設と更新については、費用面も考慮しながら水道整備課と協議し水道配水管等の更新工事と合わせて実施しております。	
12	私は、市から委嘱され、総合計画審議会委員や環境審議委員の役員等をやってきたが、委嘱される時は市長から文章が出てくるのに、辞めるときはいくら任期が決まっているとはいえ電話で言われる。ご苦労様の文書があっても良いのではないかと。トップは挨拶で勝負して欲しい。自分の都合を合わせてこれまでやってきたのである。	おっしゃるとおりです。	企画政策課 環境課	—	
13	スクールガード終わっても何も無い。衛生指導員終えた時も何も無かった。金一封を求めているものではない。	おっしゃるとおりです。	学校教育指導課 環境課	—	

14	<p>ゴミカレンダーについて、従来どおりの日にちカレンダーがわかりやすく見やすい。現在の曜日管理のカレンダーより以前のゴミカレンダーの方が良い。そのような声は多々聞いている。</p>	-	環境課	<p>ごみ収集カレンダーは、滝沢・雫石環境組合が作成し、全戸配布しておりますが、引き続き滝沢・雫石環境組合及び環境課で連携を図り、分かりやすく見やすい掲載内容となるよう努めてまいります。</p>	
----	---	---	-----	---	--

② 室小路地域づくり懇談会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	私は米寿を迎え祝状を頂戴したが、妻も米寿であるが施設に入居しており出席できなかった。妻は介護を要し、9月から施設に入居した。同居する息子は働いている。本来家庭に看る者がいる場合は入居できない可能性もある。介護認定の3年の見直しがあるが、今後高齢化が進むので、短い期間で見直しができるようお願いしたい。	—	高齢者支援課	現在、要介護認定の有効期間は最短で3か月、最長で36か月の設定が可能とされており、介護認定審査会においてご本人の状態を鑑み決定しております。しかし、ご本人の体調の変化や環境の変化により、認定時に比べ介護度に変化が見込まれる場合は、認定の有効期間中でも「区分変更申請」を行い、現時点での介護度を見直すことが可能です。	
2	滝南中二年の娘がいます。冬、雪が降ると自転車通学が出来ないため、ザックが20kg位あって、それを背負ったまま徒歩で通学するのは辛いと言われ車で送っていた。バスであれば往復で月に6千円程かかると思う。室小路には100名以上の中学生がいて、どのくらいマイカー通学しているのかわからないが、バスで通学する場合バス代もかかるので、車で送っていくほうが良いのかなと思って前回の冬はそのようにした。調査をしていただいて、ニーズがあるのであれば、室小路からビッググループまででも検討して欲しい。小岩井地区はバスがあると聞いています。	6km以内は通学圏内であり、バスに対する補助はありません。室小路地区から南中までの路線について把握していませんが、新路線整備は難しい状況だと思われま。また、ビッググループまで送迎している生徒の把握はしていません。必要に応じて調査しながら対応したいと思います。	教育総務課 都市政策課	—	
3	年齢も年齢であり、バスを利用しているが、バスの構造について乗降時のステップが高いバスが多いと思う。また、バスカードの向きが分からなくなる。Suicaのようにタッチ式でも良いのではないかと考えている。 バスの席について、昔の席である。大学もあるレユニークなバスを作っても良いのではと思う。極端に言えば、箱の外にタイヤがあったら座席がフラットなバスになるのではと思っている。真面目にじゃなくてよいからやってみても良いのではと思う。	低床バス（観光バスだとエアサス付）がある。この地区では岩手県交通がメインであるが、バス老朽化が進んでいる。しかし、交換ができない経営状況である。 箱の外にタイヤがあるバスについては、国交省の絡みもあるが、交通事業者に提案してみたい。	都市政策課	交通系ICカードの導入については、岩手県交通、岩手県北バス、JRバス東北の路線バスでR3年から順次整備していくと伺っています。	
4	中央はデジタル化等を推進しているが、市としてインターネット関係で困っていることはありますか。	脱ハンコについて、法律や条令によってどの程度ハンコが必要なかを調べていながら検討していきたい。デジタル化に向けては、コロナ禍で人との接し方、新しい生活様式があるが、例えば会議や用事があって庁舎に来ていただいた方に検温をして、体温が高いからと断れない。そのような時、インターネットを使った手続等ができないか、国で具体的に検討を進めていくので、その中で市の方でもどのようなことがデジタル化できるのかについてだが、莫大な費用がかかると考えられる。システムは全国で同じものも独自のものもある。国によって標準のシステムが作られた場合、独自のサービスができなくなるか等の懸念がある。今、様々な情報を集めながらどのように対応できるのか考えている。より市民サービスを維持、向上できるような形でデジタル化を進めていければと思う。検討する段階で、市民の皆さんにも広報等でお伝えしていながら。まだこれからという現状となります。	企画政策課 情報システム課	—	

5	<p>学校行事が新型コロナウイルス感染症でより実施出来たり出来なかったりしている。コロナ禍でどういう動きをしていくのかなど参考になるような方針等を市から定期的に情報発信を行っているのか。</p>	<p>市民向けメッセージは市長からホームページで発表している。タイミングは適宜適切に行っている。 教育現場については、学校を通して教育委員会からガイドラインを提示している。修学旅行は各中学校で保護者と協議を行いながら決定している。小学校は当初宮城県方面であったが、県内に行先変更して実施している。 新型コロナウイルス感染症の状況が変化してきており、マスク着用や臨時休業の考え方についてだんだん科学的な知見が蓄積されてきた。そこは校長会議や通知で学校にお知らせしている。</p>	<p>教育総務課 学校教育指導課</p>	<p>文部科学省から示される「新しい生活様式」等を参考にしながら、ガイドライン等を各学校へ発出しております。学校教育指導課から各学校へ提示したガイドラインは次のとおりです。 ①滝沢市修学旅行ガイドライン ②滝沢市屋外学校行事（運動会・体育祭等）ガイドライン ③滝沢市屋内学校行事（学習発表会・文化祭等）ガイドライン等 ④冬期間における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン</p>	<p>文書日付 ①6/30 ②8/26 ③8/26 ④12/17</p>
---	---	--	---------------------------	---	--

③ 元村地区自治会連絡協議会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	<p>公共交通について、滝沢市内にはI G R路線として滝沢駅と巢子駅があるが、この地域の人だと厨川駅の利用が多いと考えられる。朝と夕方に三高に向かうバスがあるが、本数がかなり少ない。厨川駅周辺道路網がなかなか進んでいかない。市道の延長だととらえているが、市としてこれについてどう考えているか。今後の見通しをお願いしたい。</p>	<p>北陵中までの広い道路は滝沢市道である。その先の狭い道路は盛岡市道である。盛岡市の方で道路整備を進めているが、全体予算の中での整備となっており、補助金も少なく遅れ気味であると聞いている。 厨川駅の利用については、こちらの地域において盛岡に出たり、北に向かうのには最短であり良いことである。利用促進については、この地域における利用者や頻度というようなニーズが明確になってくれば運行について考えていかなければいけないと考えている。</p>	<p>道路課 都市政策課</p>	<p>—</p>	
2	<p>①去年お願いしていたあすみ野の公害のカラスが木の伐採によっていなくなりました。ありがとうございます。公園が5つあるが、去年一昨年の台風19号で桂の木が倒れてしまい、予算がないところ申し訳ないが伐採していただきたい。 ②条例についてであるが、他の県や市町村にはあるようだが、滝沢市には缶の投げ捨て、たばこの投げ捨て、犬の糞後始末に関する条例がない。滋賀県守山市の条例では、犬の糞の後始末の悪さによって罰金が課せられる。あすみ野は犬の糞の後始末が悪く、環境課から看板をもらって設置してもその前に糞を置くような挑戦的な人もいる。広報もお願いしたが、調べてみたところNTTが無料で隠しカメラを設置してくれるらしい。滝沢市では罰則付きの条例を制定することはできないのか。 ③経済について、ビッグルフには発展途上の20年前の商品が置いてある。先進国になってもらわなくちゃ困る。市長が言っている健康増進には食が大切であるが、なにせおいてある商品が20年前のものであるから買おうとも思わない。先ほど市長が、県は脳血管疾患、塩分摂取量がトップとおっしゃっていた。スーパーで売っている塩は塩化ナトリウムであり、塩ではない。血管がボロボロになるのも、脳卒中になるのも当たり前である。ミネラルが豊富な水を置いたら良いのではないのか。認知症、痴呆症等の脳の退化に効くオメガの油を置いたら良いのではないのか。そうすれば地方からも人が来る。経済効果もある。本当の健康を目指すのであれば、発展途上国ではなく先進国にならなくてはならないと思う。</p>	<p>①— ②環境条例について検討してみたい。そして、まずは原因者に対して事情を分かってもらうことで防げるのか。また、条例に罰則を設けるということは間接強制であり、その関係を考えて対応していきたいと思う。 ③貴重なご提言ありがとうございます。ビッグルフ（滝沢キッチン）は指定管理者が各業者と契約して商品を置いている。市としては農業関係で特産物に対して補助金を出して、農家の方が6次産業として試験的に販売等をしている。良い提案であり、健康に関するコーナーというものもあって良いと思うので、そのような食品を扱えないか提案してみる。</p>	<p>都市政策課 環境課 地域づくり推進課 観光物産課 健康づくり政策課</p>	<p>①台風19号で被害のあった公園の立木等については令和元年度中に全て対処しました。 ②本市の環境基本条例では、施策の基本方針の一部で「廃棄物の不法投棄の防止」を掲げておりますが、缶、たばこの吸い殻等の投棄及び飼い犬等のふんの放置を規制する条例とはなっておりません。県では、缶、たばこの吸い殻等の投棄を、県内の少数の市町では、缶、たばこの吸い殻等の投棄及び飼い犬等のふんの放置を禁止する条例を制定しているものの、罰則を設けていないこと、また、飼い犬等のふんの放置などは、不法投棄として違法が認められる場合は、法律による罰則等が適用される可能性もあります。本市といたしましても、法律及び条例の関係、罰則の必要性、他自治体の動向等を踏まえながら、本市の環境基本条例、効果的な対策の在り方等について検討していきたいと思っております。 ③今後の参考とします。</p>	

3	<p>環境条例について、確か環境基本条例が制定されていたと思う。地域婦人会でいろんな石鹸作りやEM菌作りなどの事業を行っており、その中で2年くらいかけて環境条例を作ったはずである。私も役員としてかかわってきて大会も行ったからあるはずである。</p>	<p>環境基本条例があるはずだが、犬の糞については教育でどうにかなるものなのか、それとも間接強制ということで罰則を作ってやめさせるのかは、今条例の内容がわからないのではっきりとした回答はできないが検討していきたい。</p>	環境課	<p>本市といたしましても、法律及び条例の関係、罰則の必要性、他自治体の動向等を踏まえながら、本市の環境基本条例、効果的な対策の在り方等について検討していきたいと思ます。</p>	
4	<p>防災無線について、最近の家は気密性に優れており、またスピーカーの音量がうるさいため、音量下げているようである。ところが、実際災害が起きた時に無線が聞こえない。窓を開けても雨の日は聞こえず、この間大雨警報が出た時も自宅では聞こえず、翌日娘に聞かされて知った。インターネットで防災無線について調べてみたら防災ラジオというものが出てきたが、現在滝沢市は使えないようである。また、NHKが月に1回緊急信号を発信していてそれを受信するにはどうすればよいかをNHKに確認してみたところ、防災ラジオで受信できると回答をいただいた。今、そのような機能を搭載した機種は販売されていない。各自各家庭で情報をタイムリーに得る方法を検討していただきたい。自宅付近で土砂災害危険地域に指定されているが、その地区の人たちに危機感がないし、私自身そのような情報をどのように手に入れるのかが疑問である。その地区に1人でも知識・危機感を持った人がいればなど思っている。岩手大学で地域防災リーダー育成プログラムを開催しており、参加してみないかと声をかけてみたが誰も参加しなかった。意識が薄い、自分のところは大丈夫だと思っているのではないか。危機はいつどこで何が起こるかわからないので、市の方で防災無線を聞ける状態を整備してほしい。うるさい人は音量を下げる、聞きたい人は音量を上げることができるようになるのではないかとと思われる。</p>	<p>住宅の気密性が高く、家の中だと聞こえないというのは事実である。時間差で2回放送するといったような工夫を行っているが、雨や天候によって聞こえないという状況がある。音量については、人それぞれであるため、まず防災無線の場所を教えていただき、該当地域の方々に確認を取った上で、音量調整について検討していきたい。防災無線の内容はモバイルメールでも配信しており、適宜広報にてメール登録のお知らせをしている。様々な手段で発信している。以前はアナログであり、防災ラジオとして消防や自治会長、民生委員等に配布して設置したが、今はデジタルラジオに変更したが、まだ高価でなかなか取得できない。今後全国的に汎用性が高まって単価が下がれば、各世帯に市で補助をしながら設置してもらおう等様々考えられるので方法を検討していきたい。市でも昨年度から地域防災リーダー養成講座を開催しているので、地域の自主防災組織の活動と連動した形で参加していただければと思う。また、ご要望があれば地域で講演や講習を行うこともできるので、お声掛けいただければと思います。</p>	防災防犯課	-	
5	<p>コロナ関係で、経済対策として農家などに助成金が出ているようであるが、滝沢市民全体として対象となるような事業があると思う。他の市町村ではクーポン券を出しているようだが、滝沢市ではクーポン券の活用予定はないのか。</p>	<p>コロナ対策については様々なところに影響している。市として農業者に対する助成は、和牛の肥育農家、繁殖農家に1頭当たり何円といったような形で行っている。また、産直のスイカ送料無料に対する助成も行っている。お話のあった、農家への直接的な助成金というのは市としては行っていない。クーポン券については、一番に影響を受けている飲食店や理美容店に対して商品券の販売を助成している。商工会に委託し、市内約130店舗で1,000円で1,500円分の商品券を買えるという事業を展開している。人気のお店だと10万円分の200セットがすぐに売り切れたというお話も聞いている。まずは、そこの飲食店を支援するという事で取り組んでいる。</p>	農林課 企業振興課	-	

6	<p>道路整備について、前に自分たちでちょっとやったところもあるが何年か経つと簡易舗装だとどんどん悪くなってきて、車の腹を擦る状況がある。市に言っても市道ではないからという回答が返ってくるが、少しずつ良くなっていくという見通しが見えないとここに住もうというようにならない。自分が就きたい職場が滝沢市にも盛岡市にも無いとなると他に出て行ってしまい、高齢者が残っていつてしまう。市に魅力がないと私のように取り残されていく者がどんどん増えていく。市の魅力の基本として、道路等の基本インフラ整備が必要であるが、それがこのように進められていくという見通しがある計画を作り宣伝してほしい。毎年のように言っているが、見通しが明るいと思ったことは一度もない。お金の問題ということはわかるが、都市整備税といったようなことも考えつつ、基本計画を作って欲しい。</p>	<p>市道であれば計画的に整備を行っている。しかし、市の予算だけでは厳しく、国から交付金を頂戴しながら整備を行っている現状であり、その中で交付金額が低下しており、なかなか計画通りに進められない状況である。私道については、補助金を交付しながら整備をお願いしている。市も事務的なこと技術的なことその他一緒になって進めていくような体制で行っている。魅力的な道路計画というところでは、県道16号(盛岡環状線)の歩道や道路が狭く、安全上よろしくないため県に要望を出しているが中々進まない。粘り強く展開をしていきたい。</p>	道路課	-	
7	<p>道路に関して、市道ではないが青線というのか40~50m位ある。毎年穴があく。ゆとりが丘の清助橋のところである。市の方で補修してくれているようであるが市道編入はできないのか。</p>	<p>赤線といわれる法定外道路になっているが、穴があれば補修の際は市道に準じて行っている。路盤入替を含めての改良については、全体計画に関係してくるのでその中で進めてまいりたい。また、用地の問題等も検討していきたい。</p>	道路課	-	
8	<p>コロナ禍で市の財政的な面や税政的な面、市単独事業についての今後の見通しをお聞きしたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症を防ぐための特効薬はないため、各自で感染防止対策に努めていただきたい。市長メッセージとして様々な形で流している。今年度、新型コロナウイルス感染症によって非常に影響を受けた人・所をピックアップして対策を講じている。一般事業につきましても、予算のついているものについてはきっちり対応させていただく。問題なのは来年度以降である。国も県も財源不足になるようであり、滝沢市も増える要素はない。「入るを凶りて出をなす」。収入が減れば、支出も減らさざるを得ない。減らした場合どこに配分をするのかというと、大事な事業に集中的に配分となる。優先順位をつけて行うが、市民の生命や財産に関わる事業は優先的に対応する。あとは予算全体中で必要に応じて優先順位をつけて対応を行っていく。</p>	財務課	-	
9	<p>滝沢NAV Iを何年か使っているが、例えば火災の時とかに放送よりも先に通知が来たりして煮詰まってきて良い感じである。しかし、市のアピール、自然や美味しいものなどの情報が少ない。他の地域の人に滝沢のことをアプリを使って説明できたら良いなと思うので、アプリを整備していただきたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。アプリを作ってから改良をしていますが、滝沢千景や食べ物についてなかなか更新できていないので、今後情報収集しながらどんどんアップしていきたいと思う。</p>	企業振興課	<p>滝沢NAV Iアプリについては様々な情報をできるようになった反面、情報過多で見難くなっている状況です。今後は利用の傾向を参考にしながら見やすく使いやすいアプリになるように整備していきたいと考えています。</p>	

④ 鵜飼地域づくり推進委員会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	バスロケーションシステムと資料にあるが、滝沢市においてもバスロケーションシステムが導入されるのか。	現在、バス事業者の方でGPSを車載するなど進めている。今後当市においてもバスロケーションシステムを導入する準備が進んでいる。	都市政策課	—	
2	高校生がバスで高校に通えるようにしてほしい。盛岡北高は実質的に冬であってもバスで通学できない。利用しないのではなく利用できる。買い物など滝沢市内での移動ではバスの利用はできない。	路線などについても、バス事業者と協議し検討して改善に努めていきたい。	都市政策課	—	
3	事業者の減少傾向の原因は何か。検証の上なのか。条例を作るということは、何を目的にして条例をつくっているのか。事業者への補助のためか、減税のためか。横のパイプを作るためか。	市内事業者の減少について、大卒でおさええている。大きなスーパーが原因であるなどの検証はしていないが、全体的に事業者が減っているのは事実である。市内消費での買い物消費は当市30%、盛岡は100%に近い。皆さんと共に地元の企業を支えることが必要である。この条例をもとに、第2次滝沢市総合計画に反映させ、具体的な計画を盛り込み実施していく。地域の皆さんと意見交換しながら進めていきたい。	企業振興課	—	
4	商工会の新年会に参加し、どんどん発展という説明を受けたが、産業の現状にショックを受けた。今から具体的にやらなきゃいけないと思う。鵜飼南に家族5名働き手としているが市内勤務者1名（銀行員）、盛岡市4名である。雇用関係発展のイメージあったが、本来はよく考えて色々やらないといけないため現状に驚いた。社労士を少ししかじっているため、例えば、市内事業所で自治会活動に出る人に特別休暇付与できないかとか、忙しい忙しいではなく、そのようなことを発信する必要があるのではないか。	商工会新年交賀会かつてない規模で行われた。商工会員数は増えている。統計上は市内1,400弱事業書がある。フリーランスや仕事の他に仕事をするなど多種多様な働き方があるため、市で全てを把握していない。市としては維持あるいは増やしてまいりたい。	企業振興課	—	
5	市民として、市はどのような方向性で行政を行っているのか。市と言えば市街地があってメインストリートがあるはずだが作る傾向は見られない。メインストリートはどこになるのか。中心市街地といえば市役所前だとされるが、商業地区・工業地区がバラバラであり、アクセスは従来の道を舗装しただけの道となっている。メインストリートはどこでどこを中心に都市計画を行っているのか。	非常に重要な問題である。県内の町・村にもメインストリートはある。滝沢市には中心市街地のようなものが無い。今計画をして進めている。滝沢市には農地が多く、農地の使用にあっては国の許可が必要となり。今はそうゆう段階で手続きをとっている。滝沢市に中心市街地が無いことは自覚している。中心市街地に行けば、行政手続き、買い物、勉強、病院、憩いなどそこに行けばすべてが解決するような場所が必要であると思っている。滝沢市の交通は盛岡に向かっている。46号、田沢湖線、4号、IGR、232号県道盛岡滝沢線と全て盛岡に向かっている。横の連絡がない。勉強して滝沢に帰る、働いて滝沢に帰るといった繋がりが滝沢市の課題である。広い農地をつぶすことは国との話し合いとなる。事前準備という段階である。議会において中心市街地に至る道路は可決されている。滝沢市・盛岡市・矢巾町の都市計画もあり進めている。	都市政策課	—	

6	<p>①市内事業所数の減少61件について、資料のグラフ作り方がよろしくないと思われる。意図的に誤解を生ませるようなグラフの使用はやめていただきたい。</p> <p>②血圧上昇防止のための再調査が必要ではないか。塩より体重の減少の方が重要なのではないか。</p>	<p>①見た目半分減ってる風に見えるものは良くない。不安をあおる表現をしてしまった。</p> <p>②塩に対しては、検討して止めるなら止めるで対処する。</p>	<p>企業振興課 健康づくり政策課 健康推進課</p>	<p>滝沢市は脳卒中死亡率が国と比較して高く、その大きな要因の一つとして高血圧があげられます。高血圧を予防するためには、もちろん適正体重の維持も重要ですが、運動や減塩、休養などをバランスよく行うことが大切であるとされています。今後も健診結果等を分析し、生活習慣病予防のための健康づくりを進めてまいります。</p>	
7	<p>事業所数等あまり細かい詳細は把握されていない感じがする。これから条例作るときにわからないのも困る。事業所数減っているとあるが、1人の事業所減って10人の事業所数が増えているかもしれないのではないか。事業所数より従業員である滝沢でどれだけ働いている人がいるのかに注目した方が良いのではないか。無くなった事業所がどのような理由でなくなったのか、中身を把握して欲しい。消費者として買い物するときはイオンなどが多いが、これは仕方ないのえはないか。そこを解決するよりも、魅力ある商品など違う形で滝沢らしさを出す方が良いのではないか。盛岡のベットタウンだが定住を進めるなどそういった施策のほうが良いのではないか。</p>	<p>現状盛岡市のベットタウンとして発展してきた状況である。免許返納したい方が増えると歩いて買い物に行きたい人も増える。歩いて行って買い物できる店が鶴飼地区はあるが他の地域では何キロ先もお店がないということもある。どのようになるのが1番いいのか今後いろんな方々の意見を聞きながら、高齢化に向けて対策を行っていききたい。事業所数の他に就業者数のデータを集めるところである。それらのデータをもとに関係機関と話し合う時間を増やすなどしていききたい。夜間人口5万5千人、日中就業者数1万人台であるため、ほとんどの方が市外で働いている。市内働ける場を設ける、あるいは規模拡大していき、それに対する支援をすることで市の発展に努めていききたい。中心市街地に関しては、的外れなことは避けたいと思っている。良かれと思ってやったことが市民の皆さんが必要ないと思うことは避けたい。現実問題として、計画を作る段階では市民アンケートを利用する。その中でどういう施設が必要かを盛り込んでいる。我々だけが考えてやっているのではない。その中で滝沢らしさがあれば、それについては今後とも動かして、もっとも市民にとって良い中心市街地を作っていきたい。どんどん意見を出していただきたい。</p>	<p>企業振興課 企画政策課</p>	<p>—</p>	

8	<p>①県大・盛大など滝沢市に大学が存在しているが、学生が住居を構えているのは青山でそこから通学しているケースが多いと聞いている。理由としては、大きなスーパーなどのバイト先、遊びたくなるような飲食店があるなど、大学周辺で街が完結していれば、そこに住居を構えることができるが、それが無い。土地はありそうだけど街が出来ていない。もったいないと思う。大学周辺に街をつくるために思い切ったショッピングセンターの誘致、あるいは盛り場をつくるような何か市として政策を立てるなど何か計画はあるか。</p> <p>②若い世代の夫婦が家を建てて子供を育てる。少子化に対して大きな対策をしていかないと今後どうなるのか。少子化に対して滝沢が何かやっているのか。</p>	<p>①県大・盛大の周りには建物がなくて、学生が住んで買い物・バイト・遊びがしやすいのを求めて盛岡へ住むという話は聞いている。県大・盛大の区域の周りは県の用地、あるいは林業など開発しにくい農振用地にかかってたり難しいところではある。地域の人もスーパーを誘致したいということで、あるスーパーに出店のお話をしたが、土地の問題や営業エリアの範囲、既存スーパーとの競合など様々な絡みがあってなかなかうまくいかない現状もある。今後も学生が多いため開発していければと思う。企業も集積させ、卒業後の就職してもらおうという方向性を持っていきたい。まとまった商業用地は今現在は難しい。ただ、状況が変わると方向性もかわってくる。川前地区をうまくリードすればもっと住む人が増えるのではないかというお話であるが、地元の人からなんとか商店などを引っ張ってきて欲しいと言われる。商業を誘致するため、農地を転用するか、上下水道を引くとか応援はできる。</p> <p>②地球には77億人いる。全世界人口増の中、日本は人口減少している。昔と今を考えると、希望があった。今はそのような希望があるか。子どもを育てやすい環境など出来ることはやっていく。皆様の意見を聞きながら取り組んでまいりたい。</p>	企業振興課 企画政策課	-	
9	全国的に見て尼崎市のように、少子化対策に取り組み人口が増えているところもある。医療費控除など研究して10年20年先を見据えていく必要がある。今、市民共通認識が何も無い気がする。少子化の中、何か日本一とかスローガン、IT集積して日本のシリコンバレーとか大きいビジョンを考えていただければと思う。それがあつての産業振興条例とかに結び付くのではないか。	後期基本計画後の次期総合計画に盛り込んでまいりたい。	企画政策課 企業振興課	-	
10	コロナ禍の中、コロナによる社会変化、首都圏から地方への人流れやリモートワークなどの支援があるのではないか。イノベーションセンターなどのIT企業集積により、首都圏より人を呼び込む、UIターンなど地方へ住む機会を作ってはいかがか。県内出身者が本社は東京でも週何回かは地元滝沢で仕事できるような方法もいいのか。	企業に対し、リモートワークに関する補助をしたり、イノベーションセンターをリモートワーク用の貸事務所とするなど検討している。首都圏の若者の4割が地元を検討しているようであり、リモートワークを検討している企業もある。	企業振興課	-	
11	<p>①魅力あるまちづくりを進めていただきたい。生きているうちに商業地など進めていただきたい。3年前ごみ有料化、現在は減量化ということで市民に協力いただいているが、将来的ゴミ焼却場が30年もつよう住民に負担のないようお願いしたい。</p> <p>②市役所前の環状線、大型車がとてつもなく多い。小学校・中学校が道路沿いにあるので、交通事故など非常に危険である。また、滝沢ニュータウンからビッグループへ道路を接続いただきたい。防災・救急上もアクセスできる道路が欲しい。</p>	<p>①魅力あるまちづくりは必要である。市民の皆様の意見を聞きながら賑わいのあるまちづくりを進めたい。ゴミ広域化については、現在前潟地区を最有力候補地として場所の選定を進めている。その後、焼却方式や耐用年数、残渣をどうするか。各市町での処理か。そういったことも検討していきたい。</p> <p>②県道については県に要望を継続して行っている。商工会から大沢まで事業化され測量等進められている。引き続き篠木まで事業化するよう県要望していきます。ビッグループから農協までは接続するよう進めており、規制等の許可等により進めてまいります。</p>	都市政策課 環境課 道路課	-	

12	<p>高齢化社会であり、運転免許を返納しようと考えている。しかし、車が無くなったらどうなるか見当もつかない。知り合いの人で免許を返納したら運動不足になった。出歩かなくなったためである。免許返納した場合にメリットはどのようなものがあるのか。また、コロナ対策で割引券があるがコロナの交付金なのか、市の予算であるのか。免許返納に係る市の優遇措置等はあるのか。</p>	<p>国の交付金を活用をしている。ぜひご利用いただきたいと思う。また、返納のメリットですが、高齢の方々には免許の更新に係るハードルが上がっているのかなと思います。現在市で直接的な施策はありませんが、民間では返納した方々に様々なサービスがあります。小需要交通というところで実証実験をしていきたいと考えている。車を所持していれば日々経費がかかります。ドアtoドアというところで引き続き検討を行っていきます。</p>	<p>都市政策課 防災防犯課</p>	<p>高齢者の運転免許証の返納に関しては、返納後の交通手段の確保という観点から、非常に大きな社会問題でもあります。よって、公共交通や福祉バスなどの移動手段も含め、全体的な視点から引き続き検討していきます。</p>	
----	--	---	------------------------	--	--

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	<p>小岩井地区の公共交通網はここ2・3年で不便になったわけではなく、ずっと前から問題になっている。ビッググループができる時に「ビッググループを拠点に公共交通網を完備します。」と言った当時の市長や部長の言葉に期待していたが実現できていない。よってものすごく不信感がある。小岩井地区について全然進まない。例えば、小岩井地区から滝沢の病院に行くのは高齢者にとって苦痛である。盛岡経由でバスに乗ってまた逆に戻ってくるという状況である。ビッググループ行きのバスも7時30分に南中に通う生徒のために出て、帰りは17時30分にしか出ない。ビッググループで時間を潰せばよいのかもしれないが、とてもじゃないが気軽に行ける状況ではない。また1から何かをやって3～4年後には話がなかったことになって、また何か新しいことをやりましょうかとなるから不信感がある。何も進んでいない。公共交通の話をされても今さらなんだという話である。いまいち理解ができない。待っても待っても進まない。言ってることがわからないわけではないけれど綺麗ごとだけ並べているように思える。</p>	<p>いつまで経ってもできないというのはよくわかる。滝沢の交通が全て盛岡駅に向かっている。滝沢は盛岡に行って帰ってくるような道路は完備されている。便利ではあるが、それは盛岡とのつながりである。それでは横のつながりをどうするか。今、中心市街地の形成を進めている。他の市町村に遅れを取りながらも、中心市街地とその周辺をある程度公共交通で結ぶということを進めていきたい。公共交通の中にはタクシーも含まれており、基幹である公共交通まで徒歩・自転車・タクシーで行くという交通網の整備を行っていきたい。遅ればせながら着実に一步一步進めていきたい。</p>	都市政策課	—	
2	<p>6月議会の報告書と盛岡タイムスの記事の紹介後、 ①「住民自治日本一を目指す市において1つのモデルになる」、「運賃が伴う公共交通の運行は公共事業者が行うことが原則」という言葉の整合性について疑問である。 ②小岩井地区は公共交通小需要4地区になっているが4地区について不明であるため説明をお願いしたい。 ③来年度実証実験を実施したいといわれるが、予算面でタクシーなどを活用できるのか不明であるので説明をお願いしたい。</p>	<p>①この取り組みについて全く何もない更地の状態で行っているのであれば素晴らしい内容であるという評価である。しかし、それを成立させるうえで様々な法律上の制約がある。無償であればよいが、お金が発生する場合は白タクという考え方もある。その兼ね合いを確認しながらというのが市長の答弁であると考えている。先程、空白地帯がないという話をしたが、タクシー事業者の営業エリア外であれば問題はないと考えている。しかし、滝沢市内にはその空白地帯がないため、良い取り組みではあるが、タクシーの営業エリアであり事業者との調整が必要であると考えている。運賃は法律上の問題であり、市の方で何とかして解決できるものではない。法律上の問題を考えなければ、素晴らしい取り組みである。 ②姥屋敷、柳沢、一本木、小岩井の4地区となっている。 ③県立大と一緒に進んでいる。結節点まで行く基本的な方法だが、近所の人とお金を出し合っけて乗り合いをしてもらっていくことを想定している。誰が何時のバスや電車に乗るかの情報を集めるコーディネーターを設置して、その人が希望者に対して連絡をして集めて乗っていく。市がタクシー代金を出すということではない。</p>	都市政策課	—	

3	<p>ボランティアは4月から行っており、10月1日現在で会員数64名でドライバー登録は12名となっている。9月末現在、移送だけで204件で家事関係が39件で、主なものは滝沢市や盛岡市の病院まで行くといったところが6割強、他には買い物に行ったり、郵便局や市役所に行ったりというところである。加入者の構成は68歳～94歳で運転する状況にない人、或いは非常に状態が悪くて自分で駅まで行けないような人たちが不便だということからボランティアが始まって、それに同意して入った人たちである。よって、ドライバーとして乗っていて車の中で困っていることや悩みについてたくさん話をする。民生委員をやっていることもあり、何かあるとドライバーから話がある。内容によっては地区の担当者とも情報共有を行い、必要に応じて市の包括支援センターに連絡を取り、面接や話し合いも行う。民生委員は非常に見守りが大事と言われているが、コロナの関係で見守りができない。しかし、この活動によって弱者からのいろんな話が直接聞けており、見守りの効果が大きいと感じている。このような取り組みを他の地区に広げたいし広げてほしい。</p>	<p>モデルとして素晴らしいというのは先程も述べたが、素晴らしい方になるのか違法になるのか、そこについては法律の問題である。私は、この行っている取り組みは素晴らしいと思っている。</p>		<p>介護保険法の介護予防事業においては、高齢者一人一人が活動的で生きがいのある生活を送ることを目的としております。高齢者が地域での社会的活動への参加の推進を行うことは、活動を行う高齢者自身の生きがいや介護予防、健康づくりともなりますので、地域での様々な取り組みをご紹介できる機会を整えていきたいと考えております。また、見守りについてですが、今般のコロナウイルス感染症拡大に伴い、高齢者の閉じこもりによる精神的な落ち込みや認知機能の低下などが課題になっているケースもあります。今後も民生委員をはじめとする地域の皆様の支援を通じて、見守りのネットワークを広げていくことで困りごとの早期発見、対応を行ってまいりたいと思っております。</p>	
4	<p>ボランティアの会長をしているが、確かに料金をもらうことは白タクとなり、警察のお世話になってしまう。陸運事務所の話としては、当たり前だが料金は取っちゃダメである。10年前にもこの話はしたが取り合ってもらえなかった。時代が変わってきているため、事情も分かっていたらと思う。料金は取っちゃダメだが、ヒントとして寄付は良いし、ガソリン代の実費はもらって良い。西警察署にも事情を全部話しており、書類上に料金とわかるようなことは書いてあるのはまずいという指摘を受けたこともあったが、基本的には問題はないのではないかと話をされた。そのため、今のところは問題なく運営できるものだと思ってやっている。だから、市長が違反するというような話をしていると我々は何かとんでもないことをやっているのかとなるが、そういう思いではない。確かに乗る人は「なんぼ払えばよいのか」ということは聞かれるが事情を話している。今のままじゃ、ボランティアだからしょうがないが、遠くに行けば行くほどガソリン代で損をする。いろんなやり方があり、最初は皆乗るが、乗らなくなるとお金の問題に引っかかる。だから、私たちは債務なしでやっている。ここにもドライバーが何人か参加しているが、いずれは我が身である。そういうことをうまく構築したいのである。だが、市長のバランスを取らなきゃなどの発言を聞くと、小岩井は何をやっているのか、やめろというように聞こえてしまう。</p>	<p>そのように聞こえてしまっていたのであればこちらの言い方に問題がある。しかし、これは法律上の問題であるため、行政を司る私には評価ができないということである。要するに、やっていること自体は素晴らしいと思うが、法律上抵触するかどうかということは評価できない。市長の考えとして法律に抵触しているかどうかは全くわからない。</p> <p>市では交通会議というものを行っている。公共交通事業者も含め皆さんが納得、理解した上で、持続可能な仕組みにしていかななくてはならないと思っている。しかし、現状の課題があり、そちらを早急に解決したいという自治会長さんの熱意でこのように始められたということだと思う。自宅から病院となると、ドアtoドアということで公共交通ではなく福祉の見方であると考えられる。我々としては、公共交通とはバス停や駅まで自力で移動して、そこから乗り継いで出してもらうという仕組みであり、今行っているものは福祉の視点で持って仕組みを考えていかなければならない。会長さんの熱意には敬意を表しますし、ボランティアの方々が手弁当でやられている、また心ある方が謝礼金をお支払いするというのも偶発的な謝礼金であれば問題ないという見解ではありますが、今の仕組みがこのままで終わることなく未来へも進んでいくようなやり方を我々は法律等でチェックしながら、誰にもご迷惑がかからない形、良い方法で仕組みを作りたいということである。小需要交通もだが、進めていく中で福祉部門とも連携していかないといけないということは感じている。</p>	<p>都市政策課 地域包括支援センター 地域福祉課</p>		

		<p>まずは、一本木地区の縦の路線（国道282号）には県北バスが走っているが、大川地区にお住まいの方は小岩井地区と一緒にバス停まで1kmも2kmも離れている。バス停まで行く手段がないといった方はバス停までお連れして、乗り換えていただいて巢子界隈のバス停で降りていただいて病院、買い物に行くというのが公共交通としての役割であると考えている。繰り返しになるが、そのような地区でいろいろな仕組みを作って実証実験をして、結果次第で福祉部門も交えて、どうすれば期待に応えられるのかを考えて、持続可能な仕組み、公共交通事業者さんにご迷惑のかからない形にしていきたいと考えている。我々もボランティアの会の方々のやり方を否定するわけではなく、持続可能な、これからの高齢者社会の課題を整理しながら進めていきたい。</p>			
5	<p>①小岩井駅の新しい駅舎について、いつ頃できるかわからないが、高齢な私は南側に住んでいるが、駅から降りて一旦歩道に上がって幹線道路に出てまた線路を越すといたったようになっていて、足が悪くてもそこを通るしかない。宮城県あたりに行くと反対側にも改札口がある。将来的に小岩井駅に果たしてエレベーターをつける予定があるのかどうか。そういうところも随分お年寄りには苦痛になっている。</p> <p>②線路越えて歩道橋を下がったところの次の南側の幹線道路までが公共の道路なのかどうか。雨が降った時にたぐつでも歩けないようなくらいすごい。凹凸がある。見てもらいたい。</p>	<p>①駅舎の南口については、これまでも課題であり、まちづくり委員会等でも話し合われてきているため、話は伺っている。現状では、まず駅前広場（トイレまで）をというのは動いているが、エレベーター等についてはJRさんでの設置となる。しかし、利用者数の問題でなかなかできないというふうに認識している。その辺はいずれまちづくり委員会等で話し合われているが現状では白紙状態である。</p> <p>②跨線橋を越えるところも含めて市道である。まずは確認をしたいと思う。</p>	都市政策課 道路課	当該道路は市道小岩井駅前線になります。現地確認をし、段差等を確認しました、令和3年度に修繕対応致します。	10月19日 現地確認
6	<p>小岩井駅について、今までのまちづくりの中では南口に改札を設けてほしいと何回も言っているが、結局利用者の数で、JRが改札設置に2,000万円位かかるといってダメだと言われる。譲って我々が立つと言っても、安全が確保できないことを理由にダメだと言われる。とにかくノーである。今のエレベーターの話は今後駅舎のところには必ず抱き合わせて進めていかなければいけない。現実、この階段を利用できないために大釜駅で降りるから迎えに来てくれとなっている。階段の上り下りができない人が増えてきている。白紙状態だが、これからどうするのか。このことを地域づくりや自治会でも頭に入れながら進めていきたい。</p>	—	都市政策課	—	

7	<p>①小岩井駅の駅舎の件だが、駅舎のほかに市の行政の部門の一部を併設するという話が以前出ていたがどのように進むのか。建物を完全に分けて隣接するような形で建てることはできないのか。駅舎の建て替えをするときに行政機関が併設するという案はなくなったのか。</p> <p>②盛岡市だがイオンのところに駅ができるできないという話が出ている。そこに滝沢市はどのようなかわり方をしているのか。現に、お年寄りの人が買い物する時、特に食料を買い出しできない。一人ではどこにも行けない。結局は誰かの車に乗せてもらって雫石か街中、ビッグループの向こうのマイヤに行かないと食料は調達できない。もし、イオンのところに駅ができるのなら、少なくとも一人で行ける人が出てくるため、どうかかわっているのか、動きがわかっているのであれば教えてください。</p>	<p>①JRは株式会社、利益追求組織であるため、JRの建物と公共施設は同時にはできない。ただ、大釜駅は管理部門の一部がJRのものであり、それ以外は滝沢市のものである。ちょっと意味合いが違ってくる。建物を完全に分けて隣接させるのは可能である。</p> <p>まず駅舎を建て替えることについて全部一体として話し合われてきたと思うが、諸般の事情で今現在は駅前広場と駐輪場、トイレについて確実に実施していくということになっている。しかし、駅舎等の今のお話については白紙の状態であると考えている。駅舎と公共施設というのは初めて聞いたと思われる。</p> <p>②8市町で広域協議会というものを作っている。その広域協議会のメンバーとして各市町の市長・町長が入っている。現在のところは盛岡IC付近を最終的な候補地として今後折衝を進めていくという段階である。それ以外のことには協議会では話題になっていない。まだ焼却場の場所が最終決定していないため、還元施設としての駅についても進んでいない。そこに焼却場がなくても進めていくか否かは定かではないとしている。</p>	都市政策課	-	
8	<p>地域情報としてお伝えしたいが、立場上月に1回は地域全体を見て回っている。4～5年前から住宅の新築・着工件数が非常に多くなって、今現在も4～5件建築中で年間で10戸以上は出来上がっているのではないかと。勢いが止まらない状況である。小岩井は盛岡へのアクセスが良い、或いは小岩井の豊かな自然を求めて、地価が安いというのがあるが、ここに住まいを構える方が増えたのかと考えている。4～5年前に何があったかという、小岩井に下水道が整備されて供用が開始された。これが最大の要因であると考えている。おかげさまで下水道の方は地域全体の3分の2くらいの世帯に第1期計画として汚水柵が設置されるようになった。下水道の設置というのは本当に魅力的である。このままいくと下水道完備という地域の長年の願い・夢が叶う。これは担当課の市全体の行動力のおかげであると思っている。ぜひ進めていって欲しい。小岩井は駅を中心に7,000mの所に人口の9割がいるというコンパクトな地域なので、ぜひともこれを進めていただきたい。私としては3分の1だけ残されると歪な地域になってしまうため、ぜひとも全域にという風にお願したい。</p>	<p>日本で污水处理は、汲み取り、合併浄化槽、下水道など何らかの形で100%処理されている。第1期として小岩井で進めているがまだ当初予定していた繋ぎ方になっていないと聞いている。当面第1期の中で当初予定したところ、まだ繋いでないところの調査をし、その結果を見て考えていくというようになっているようだ。下水道事業は地方公営企業ということで企業としてきちんと収支が取れないといけない。マイナス面があるとどこかの地域の人たちの使用料を使わざるを得ない。要するに当初予定したのであればそこを見込んだもので収支計画を作っているのできっちり調査をさせていただきたい。</p> <p>現在の1期工事について、接続率、繋いで使っていただけの方は50%に至っていない。公営企業という立場にあるため、公営企業の事業の進め方は建設費用だったり維持管理、経営についても使用料で賄うということが決められている。そういう部分を、繋いでいただける方を調査して、事業の進め方については調査の結果が出たところで皆さんに相談をしていきたい。</p> <p>調査について、現在600いかないくらいで柵を設置していただいている。柵を設置して接続されている方が大体320件位ある。繋いでいない方が今後どうしたいのかという意向調査を行います。その中で繋ぐ見込みのない方に関しては後程ご相談させていただきます。もしばしお時間をいただきたい。</p>	下水道課	意向調査を実施し、その結果を自治会代表に報告済みです。今後も協議を継続していきます。	11月30日 14時～16時

9	<p>①自治会連合会の研修会の時に東北大学の先生が「市政はすべて市民の生活の現場のありて机の上には在らず」と言っていたが、職員に浸透しているのか。去年の12月のことだが、例年冬(11月)になると3つの公園と第2公民館の水道が止めるのだが1箇所止まっていなかった。その結果、使用料が引き落とされた。それを言いに行ったら、はがきは3枚しか持ってこなかったと言われたが、こっちは4枚持って行った。コピーし損ねたのだと思うがそれは言った言わないの問題だからしょうがない。しかし、その時もう手続きが終わってしまったからお金は払いませんと言われた。一方的にこっちが間違っているという言い方をされた。このことを当時の部長に言ったらお金は返すと言われた。窓口を外部に委託していると思うが、我々からしたら市の職員でなくとも市の窓口である。だからそういう姿勢が納得できない。いつもおとなしい方なのに怒ってしまい、こんなことやっていたら市の信用を無くすと言って帰ってきたそうである。お金を返してもらえればよいという話ではない。</p> <p>②資料の中にも入っているが、市長のこの言葉はすごく良いと思うのでぜひ浸透させてほしい。</p>	<p>①内容については報告書があり経緯の方は記録している。窓口をお客様センターというところに委託しているが、その後市役所の料金担当とお客様センターで打ち合わせを行い、今後このようなことがないように進めたいとしている。</p> <p>本来であればあってはならないことである。お詫びを申し上げます。今の話はもう一度全庁的に広めて同じことがないように対応していきたいと思っている。</p> <p>②ちょうど計画を作っているときのことであり、「計画は机上のものではダメだ、住民の生活にしっかり結びついたような計画でないとダメだ」ということをいうために西澤先生の言葉を借りてこのようなものを作ったということである。</p>	<p>水道総務課 総務課</p>	<p>—</p>	
---	---	--	----------------------	----------	--

⑥ 東部地域づくり懇談会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	<p>菓子駅からのバスが1日何本か出ているが、利用者ほとんどいないという状況である。コマーシャルが足りないというのもあるし、乗りたいときに乗れないというのもある気がする。何か工夫すれば、もう少し4号線沿いの方とかを菓子駅に集めて下車をさせるというのもしかないか。何か良い方法がないかなと思って質問させていただいた。</p>	<p>菓子駅への交通手段として過去に菓子循環バスというものを運行した経緯がある。この時は利用者が1～2人ということで運行を取りやめたというように捉えている。今のお話は非常に大事なことでと考えている。7番でご説明したように、菓子駅を結節点と捉えれば、そこまでは乗り合いタクシーや、バスの運行が難しいのであれば3～4人で集まって乗り合いをしていただいで菓子駅まで移動するといったような仕組みを考えられれば良いと考えている。そういったところから、小需要地域の新たなサービスというところで検証をしながら、ゆくゆくはその結節点までの移動をどうするかということもきちんと整備しながら進めてまいりたいという風に考えております。</p>	都市政策課	—	
2	<p>今、結節点という話が出たが、菓子駅に駐車場があるが、朝は早く行くと停められるけれど日中は空いていない時がある。昼頃利用したくても停められないから、家の人にらせてもらうということがある。無料ではなく安くても良いから有料にして、それを何かのお金に換えて菓子駅をもう少し駐車場を増やしても良いのではないかと考える。</p>	<p>議会等でもいただいているお話で、現在は無料であるが、使いたいときに使えないというような話も多々受けている。駅利用者ではない方が駐車しているケースもある。今その仕組みを考えておきまして、できれば来年度から有料化をして、他の事例等も調べつつ効果を見ていきたい。大変なご負担をお掛けすることになります、駅利用者に使っていただけるよう、来年度取り組んでまいります。</p>	都市政策課	—	
3	<p>I P Uイノベーションセンターにて企業誘致を積極的に行っていると言っていたが、新型コロナで社会経済が非常に大きく変化した。特に、働き方が大きく変わり、従来働く場所といえば会社であったと思うが、テレワーク、リモートワークとなり、家庭やサテライトオフィスというものが拡大してきていると言われている。サテライトオフィスについては、都市部よりも地方の方が関心が高い。各自治体が誘致をしたいということでいろいろ動いている。I P Uイノベーションセンターには東京に本社がある企業10社程がもうすでに入っている。そういうところで滝沢市は先行的に取り組みがなされており、アドバンテージがあり優位な状況になっている。その優位性をさらに生かして、これからの時代にサテライトオフィスを誘致するよう積極的にさらに動いていければと思っている。ただその場合に、今のI P Uイノベーションセンターの貸研究室はほぼ満室状態であるというのを聞いている。それから、イノベーションパークについて、時々近く通るが、広大な滝沢の土地を考えれば、規模が小さい。最初は試行的にということであったと思うが、積極的にオフィスを誘致するという活動を行うのであれば、貸研究室を増設し、イノベーションパークの土地もいろいろな条件があると思うが、県と協議をして近隣の県有地に拡大していただければと思う。また、誘致にあたっては、自治体と企業をマッチングするようなセンターの開設というような選択肢もあると思うが、どのような対応をなされているのかお聞かせいただきたい。</p>	<p>企業とか産業がその地に立地するためには、様々な条件が必要である。原料が近くにあるとか、消費地が近いとか、人材が十分にいるとかということが挙げられる。滝沢市を考えた場合に、まず1つは高等教育機関が2つもあり、人材が非常に豊富であるということが言える。それから、農業関係の生産費が非常に多いというように特徴がある。今想定しているのは、1つはイノベーションパーク、イノベーションセンターを中心としたI T関係産業をうまく活用して、さらに集積をしていきたい。もう1つは、農業関係で、農業の主要生産地域でもあるので、食料品製造業が良いと考えている。これから人口が減っていく中で、新たな商業団地、工業団地を作る必要はない。もし、滝沢市に工場を持ってきたいという考え方があれば、市をあげて応援をする。入ってくるには法規制があるため、それを解除するとか、上下水道をどうするかとか、それらについて市をあげて、団地を作らず、個別に対応をしていくという方針で進めている。イノベーションセンターの関係で西澤先生が、県立大学から4号線まで全部城下町にしようと考えておられたが、それは無理にしても、財源の方向もあるが、できればそういう方向で考えていきたい。</p>	企業振興課	—	

4	<p>①一本木バイパスについて、まだ1 kmくらい残っているが今後の見通しを知りたい。また、家の前が迂回路になっており、生活道なのに朝が結構混んでいる。</p> <p>②柳沢～4号線までの工事はいつ終わるのか。</p> <p>③夜に結構中学生、高校生が通る。待避所を4か所お願いしている。1か所は2台停めることができるが、菓子路線が終わってからという話、十文字も小学生、中学生が結構いますので、よろしく願いいたします。</p>	<p>①県事業であり岩手県で進めている。先日の情報によると、用地買収が難航していたが、何とか買収ができたとのことである。現在の目標だが令和6年度中の開通を目指して工事を進めているとのことである。</p> <p>②現在、防衛省の補助金により事業を展開している。282号線から4号線までの区間について、現在用地買収を進めている。あと2年程かかる予定である。反対をしている方はいないし、計画通り進めることができると考えている。盛岡農業高校の用地についても、県と共有して合意はしている。4号が急カーブになっているが、緩やかにする予定だが、そこも盛岡農業高校にお願いをしていたが合意を得ている。今年度内に契約をして、事業を進めるということになっている。</p> <p>③確認しながら、お約束しているところについては順次進めてまいりたい。</p>	道路課	-	
5	<p>①滝沢駅は若い学生さん達が多いが、その反面、我々も高齢者も多く、階段の昇降が辛い。骨折をしてしまい病院に通っているがとても大変である。市長はどう考えているか。現状のままとなるのか。</p> <p>②滝沢市には火葬場がない。どのようなお考えなのか。</p>	<p>①滝沢駅はI GRであり、どうするのかということはI GRが決めることである。そのため、今のお話はI GRに伝える。例えば、小岩井駅も階段の昇降をしなければならぬのだが、要望としてしっかりある。駅舎はJR、I GRの所有のものであるため、希望については市としても的確に伝えたい。</p> <p>②一市町村で全てを揃える必要はないと思っている。広域で利用できるものがあれば、お互いに利用していけば良い。滝沢市において、火葬場は盛岡と雫石と八幡平の3つを活用しているみたいだが、それでもどうしても必要だというならば考える。</p>	都市政策課 環境課	-	
6	<p>滝沢市にお山の湯というものがあつたが今はどのような状況なのか。議会でも取り上げられたらしいが工事に6,000万円位かかるという話を聞いたことがある。ドイツのポンプを買ったという話も聞いている。なぜドイツのポンプじゃなきゃいけなかったのか。滝沢市にこういう公共浴場というものがあつたから憩いの場であつた。特に高齢者、老人クラブの方は懐かしくて、いつ再開するのかと言っている。もしもそれができないのなら、近隣の市町村に声かけて、補助券の発行を考えてみてはどうか。</p>	<p>お山の湯の現状については、休止ではなくて廃止となっている。よって、再開はない。その中で、施設が残っており、施設を有効活用できないかということで、商工会青年部が中心となって利活用する。そのため、市の方で無償で貸している。そこで賑わいを創出できるようなイベントを企画していただくような形になっている。しかしながら、残念ながらお湯の再開ということは事業に入っていない。今後事業を展開していく中で、事業者と協議しながら展開を見守って、私たちも一緒に企画していきたいと思っている。また、近隣の市町村と連携しながら補助といったことはご要望ということで考えていきたい。</p>	財務課 観光物産課	-	

7	<p>今の最初の方の答弁は、昨年の市政懇談会でも質問があって同じような答弁をしている。1年も経って、どのような活用をするのかといった案すら出ないのか。</p>	<p>昨年相手方からこのように使いたいという案が出て、今年議会にかけて正式にお貸ししている。水耕栽培を活用して農業ということで、お山の湯の施設の中で農業をやるといったことと、車に乗ったまま映画を見れるというドライブシアターをやるといった事業、地域の皆さんや姥屋敷の皆さんと連携しながら物販をしようとか、自然を生かしながら事業を起こしていきたいということで具体的に決まっております、今は準備段階であるが、既にお貸ししているの、市の方で議会で議決をかけながら進んでいる。</p> <p>相手は出資金をもって、(株)滝沢村を始めている。来年には事業が見えてくると思う。</p>	財務課 観光物産課	-	
8	<p>地域別計画で東部地域は国道4号線沿いに物販施設等を設けることを掲げている。分レ周辺に滝沢市全体の課題であり、12年前から言っている。ビッグルーフ滝沢が出来て産直もあるが、道の駅によって対外的にPRする施設を交通量の多い4号線にお願いします。自治会連合会でも山形県にて道の駅に関して勉強している。当然お金もかかるが、PFIによってできるのではないかと。農業者支援にもなる。チャグチャグ馬コも年一日で終わらないようPRできる施設も必要である。発祥地は滝沢なのに南部盛岡と言われている。4号線、282号線、相当な通行量であり、雇用も含め活性化に繋がるのではないかと。</p>	<p>本地域の地域課題として掲載されており、検討していきたいと思うが、今は中心市街地の形成を第一に進めたい。盛岡に向かって交通網が形成されている。中心市街地を形成し、横の繋がりも含め、東西南北に交通網を形成したい。買い物、行政手続き、全て出来るような中心市街地を目指している。</p> <p>チャグチャグ馬コ、年に一度の晴れ舞台と平成28年のポスターに記載されている。年に一度しかない。チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部で上手く活用できないか、馬車の活用など、首都圏から人を呼べる。提案をしている。</p>	地域づくり推進課 都市政策課 観光物産課	-	
9	<p>場所が施設を作る際に重要となる。土地の広さもあるし、岩手牧場前の道路の角地があるが市が相談すれば応じると言っている。県と協働、国とかけ合って、PFIによって民間業者と連携して欲しい。財政の厳しい中ではあるが、宝の山であるのにもったいない。岩手日報見ても滝沢市の話題が少ない。観光客を招いて活性化させなければならない。</p>	<p>東部地区は、イノベーションセンターを中心に発展させたい。それと共に川前地区に生活関連施設、スーパー、喫茶店などが足りないと思う。生活関連施設があれば、学生も定着するし、機動隊もある。</p>	地域づくり推進課 観光物産課 企業振興課	-	
10	<p>①薬王堂から滝沢交番に向かうところの歩道はいつ頃出来るのか。 ②コミュニティセンターの建設について請願を出しているが、話すらない。菓子では集会所も無い。</p>	<p>①歩道整備、菓子野沢線であるが、国土交通省の交付金を活用している。用地を一括購入し買い戻ししている。工事費まで予算が足りない状況である。草の管理など適正に対処したい。</p> <p>②コミュニティセンターについて、菓子駅建設の際に話があったと思いますが、現実的に財政状況から建設は厳しいと思う。まず、自治会の集会施設をと思っている。南菓子自治会では毎年申請し、補助金を待つばかりとなっている。地区の実状に合わせて検討を続けたい。</p>	道路課 地域づくり推進課	-	

11	<p>①保健推進員をしているが、週3回サロンをしている。新型コロナウイルス感染症のため、密とならないようにしているが、集会所が狭いため、開けない状況となる。地域の集まって活動する場所がとても大事である。</p> <p>②道の駅に関連し、直売所であるが、盛岡農業高校や大学で作っているものなどもコラボしながら販売しても良いのではないかな。</p> <p>③中心市街地の件であるが、どこを中心市街地にしても、交通が不便であるため、どこでも同じではないか。</p>	<p>①高齢者の活動の場については、持ち帰ってお伝えしたい。</p> <p>②産直での盛岡農業高校の件、盛農ではパンを作るなど商品開発しており、ビッググループでも活用されている。イノベーションセンターでも販売するなどしている。滝沢らしさの商品等PRしていきたい。</p> <p>③中心市街地は、他の村でもある。昔から何も変わっていない交通である。中心市街地が出来れば放射状に広がり、交通網が形成される。</p>	<p>地域包括支援センター 地域づくり推進課 都市政策課 観光物産課</p>	<p>①令和2年度のいきいきサロンについては、各サロンの世話人や担当者と打ち合わせを行い、感染症対策を講じたサロンの開催を進めております。今年度開催ができていないサロンの支援としては、場所や部屋を変える、2回に分けて開催する、机や椅子の配置を工夫するなどの具体的な対応策について、実際に集会所にお伺いするなどして、一緒に考えていくよう、今後も対応してまいります。</p> <p>②—</p> <p>③—</p>	
12	<p>東小の件、菓子車庫と大善の間に横断歩道があるが、暗く過ぎており、横断歩道の信号機をお願いします。 何年も前から言っている。</p>	<p>警察との関係もあるが、担当課と確認しながら、信号機についても検討する必要がある。</p>	<p>防災防犯課 学校教育指導課</p>	<p>本市では、以前から通学路の緊急合同点検の中で要望を上げております。</p> <p>該当箇所の信号機設置については以前から警察に要望しておりますが、見通しが確保されていることや通学時間帯以外の横断歩道利用者数が少ない等の理由から設置に至っておりません。今後も交通環境の変化に応じ調査のうえ検討していくとのことあります。</p> <p>本市といたしましても、引き続き信号機設置の要望をしている状況にあります。</p>	

⑦ 一本木地域まちづくり推進委員会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	<p>①和牛に関して2万円の助成を頂いた。いつまで助成していただけるか。</p> <p>②受精卵移殖で今年から経費助成を頂けることになった。今日7万円の受精卵を買って移殖してきた。市から助成頂いたが、何年くらい継続して頂けるか。</p> <p>③野菜や米も新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。どのような助成があるか。</p>	<p>①一頭あたりの助成経費ですが、和牛の繁殖農家、肥育農家が肉の消費が進まないため、価格低迷していることから新型コロナウイルス感染症対策として実施した。期間を限定しており、運搬経費等の助成である。今後、状況見ながら検討していきたい。</p> <p>②受精卵移殖については、元々1/2補助であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により全額補助としているものである。今後については、限りある財政状況を見ながら予算捻出を検討したい。</p> <p>③野菜については、市場価格を見ると、天候により量が取れていない状況もあるが、家庭での食事機会の増などにより市場価格は高めになっていて、農家の収益は減収には至っていないと捉えている。米については、外食産業が低迷していることから安価となっているが、転作等の補助金により何とかやりくりできると捉えている。</p>	農林課	-	
2	<p>交通に関して、高齢者が増え、免許返納も余儀なくされている。若い人がいなくなっており、高齢者しかいない。バス停まで付き添いを要する人もいて、高齢者であっても免許が無ければ買い物や病院にも行けない。一人暮らしの世帯が増えている。人口が減っている。自衛隊の官舎があったころは、一本木小もクラスが多かったが、今年は9人で1年生である。いずみ巣子ニュータウンも高齢化が進んでいる。自衛隊の通勤者は結構いる。一本木には住んでいない。買い物するにも車が必要である。人口を増やす方法として、自衛隊の官舎を建設いただきたい。隊員が一本木に居住することで変わる。滝沢市で何かやるとなったら、ビッググループとか市役所の方になる。しかし、一本木から行く人が少ない。そういうことを考えると、福祉バスが今は月曜日と金曜日に出ているが、1往復だけである。何とか増やしていただけないか。</p>	<p>先ほど結節点という話をしましたが、公共交通は歩いてバス等に乗るというケースであるが、足の悪い方など買い物弱者ということから福祉サイドの話となるので、三人でタクシーにて乗合いをするなど、仕組み作りの検討が必要である。公共交通としては、バスを無くさないためにどうするか検討し実証実験をしていくというものである。</p> <p>まずは、滝沢市に中心市街地がないことから中心市街地を進めていきたい。また、それぞれの地域において徒歩で生活できるようにして、その各地域を公共交通で結ぶようにしたい。買い物について、まずは乗合いタクシーをうまく利用できないものかと検討している。市内に店舗のある店に移動販売所をお願いできないか。このようなことで地域活性化を図っていききたいと思う。</p> <p>自衛隊の官舎については、国の問題もあるため、私の方からお話をさせていただきたい。</p> <p>福祉バスについては、北部方面から出るとビッググループや市内に出るのに1時間以上かかるという状況となっている。福祉バスの増便がいいのか、違う移動手段を考えた方がいいのかということも含めて総合的に考えていきたい。</p>	都市政策課 企画政策課 高齢者支援課	<p>自衛隊の官舎については、国に対して要望を行なっていると共に、岩手駐屯地としても防衛省へ要望しているとのことです。また、平成30年12月に閣議決定された中期防衛力整備計画において、「駐屯地・基地等の近傍等において必要な宿舎の着実な整備を進める」と明記されていることから、引き続き要望をしていきます。</p>	
3	<p>道路の歩道の整備について、今工事しているいずみ巣子ニュータウンの工事の流れで盛岡農業高校の後ろにも歩道を作ってくださいということで、来年着工ということでしたがやっていただけるのか確認したい。</p>	<p>盛岡農業高校のところは来年、再来年度の2カ年で事業を行うこととしている。282号線までは今年中に完成する予定である。この事業については防衛省から補助金を頂戴しており計画的に進めている。用地の方も盛岡農業高校と畜産試験場のご理解をいただいて今年度用地契約の予定である。</p>	道路課	<p>用地については契約を締結しましたので、国道4号線までの区間を来年度から令和6年度完成に向けて事業を進めてまいります。</p>	

4	<p>各種募金の在り方について、趣旨に反対するわけではないが、500円を目安など金額の目安や名前も記載させており、強制感が強いのではないか。高齢者世帯で国民年金だけの世帯は大変だと言っている。匿名にするとかしてやり方を見直していくべきだと考えている。住民税の均等割が4,000円で全部足したら住民税の均等割分に相当する額になるわけで、これでは課税されているようなものではないか。袋に入れるだけでも募金の自発性という観点で十分ではないかと思う。また、今の時代赤い羽根を渡されてとっているような人はあまりいないと思うから、作るようなお金があったら弱者へ回した方が良いのではないかと思う。</p>	<p>健康福祉部において、日本赤十字の募金を行っており、日本赤十字からのお願いで今のような形で行っている。日本赤十字に提言・要望としてお伝えしておく。赤い羽根については、社協さんの方で行っている事業となりますのでこちらの方についてもお話があったという旨を伝えておきたい。</p>	地域福祉課	<p>令和2年12月に、日本赤十字社及び滝沢市社会福祉協議会に対して、懇談会で出されたご意見をお伝えしました。</p>	
5	<p>公共下水道のことで、柳沢道路の工事でマンホールの蓋を14個ほど取り換えていただいた。その際に、汚水と雨水があるが、雨水の方は市でご配慮いただいて助かっている。管理組合の方は、設立の経緯から言うと雨水を担当していなかったため、日本瓦斯と話し合いをして欲しいということでご迷惑をおかけしたが向こうも感謝を申し上げていた。今の処理場は37～38年経っており、公共下水道と接続したいというのが地区住民の願いである。プールしているお金はいくらかあるが、全部使い切るわけにはいかないし、だからといって、今いただいている経費に上乗せしてという形も厳しいのではないか。売主ともいろいろ話しているが、一番かかるのは下に埋まっている管である。10年以上経っているから変えなきゃいけないとなっているが十分使えるものもある。そのようなところを柔軟に対応いただけないか。</p>	<p>担当課と管理組合とお話をさせていただいているという状況であるが、日本瓦斯との関係などはっきり確定できない部分も残っているし、12月に説明会を開催するというので同席させていただく予定ですので、その際皆さんのお話とか要望を聞きながら対応して参りたい。市の方針としては、下水道事業の区域に入れるという方向性ははっきりしている。あとは金銭面や管理区分というところの詰めが必要な状況である。</p>	下水道課	<p>コロナ禍のため、組合臨時会の出席を見合わせましたが、組合長より会開催後の報告を受けています。今後も協議を継続していきます。</p>	11月18日 13時～14時
6	<p>おかげさまで、市で水道の本管を全部入れ替えて2年くらい経った。しかし、昔の一本木の水道の水は、よそから来た人も冷たくて美味しいと言って飲んでいた。しかし、入れ替えてからは夏はまるっきりぬるくなった。同じ水源の水なのに、温度が違うのはどういうことなのか。柳沢から上郷、いずみ菓子ニュータウンにくる道路の上流は冷えている。</p>	<p>水がぬるいことについてなのですが、新しい管にした際、ある程度余裕を持った管の大きさにするために従前より太い管が入っている。水の使用量は変わらないため、水の動く時間がかかってしまう。加えて、何かあった時に迂回して給水できるようにしている。そのため、水源から近いとあまり問題ないが、水源遠いと時間がかかりぬるくなってしまっているのではないかと。また、以前は配水池を土で囲っていたものを今はステンレスで囲んでいるため、当初はあまり影響はないと考えていたが、少しは影響していると考えられる。前からご意見はあるため、末端の方で少し水を排出して水を動かすことはしている。現在耐震管を使用している。</p>	水道整備課	-	
7	<p>①除雪機械を3台借りているが、その点検・整備をしてもらいたいという要望があった。 ②高速道路の滝沢17番というところがあるが、その道路に水がたまる。そこを直してもらいたい。郵便局の次の道路である。</p>	<p>①除雪機械の件については戻って確認する。 ②水がたまるというのは砂利の所ではなく、トンネルの中の段差ということで、市道かどうかという問題もあるので確認を試みる。</p>	道路課	<p>①修理業者へ依頼をし修理対応予定となっております。 ②当該道路は市道第3後線になります。降雨後の状況等を確認し、施工方法について検討致します。</p>	<p>①12月9日 修理依頼 ②12月21日 現地確認</p>

8	<p>財政が大変だとは思いますが、市内の小中学校にかなり修理箇所があるように思える。一本木小も遠くから見ると屋根がだいぶ赤茶になってきている。修理箇所も学校側からなかなか要望が出せないというところもある。子供たちに綺麗な校舎で学ばせてあげてほしい。順番を待っていると卒業してしまうのでできれば早めをお願いしたい。</p>	<p>新しい学校を建てたり、校舎を修理をしたり、ICT環境の整備など様々のことを進めている。雨漏りは大変でしょうから点検をした上で対処させていただきたいと思う。</p>	<p>教育総務課</p>	<p>学校の維持管理、修繕は、限られた予算の中で、児童生徒の安心安全を最優先として対応しております。必要性は十分に認識しておりますが、同様の課題がある学校が複数校あるため、現時点で直ちに改修することは財政的に困難な状況であります。</p>	
---	--	--	--------------	---	--

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	デマンドタクシーの概要をお聞かせ願いたい。	デマンドタクシーとは、指定された乗車場所から目的地まで利用者の希望時間帯や乗降場所などの要望に応じて利用できる交通サービスである。デマンドタクシーや乗合いタクシーを含めて検討を行っている。アンケート調査をさせていただいて、その内容を確認して検討していく。	都市政策課	—	
2	柳沢小中学校から佐々木設備さんに出るところの十字路がカーブになっているが、そのオレンジ色の線がとれており、大型トラック等がスピードを出して飛ばして走行している。そのせいで夜寝れないという話が出ている。	内容と現場を確認をして手直し等の対応いたします。申し訳ございません。	道路課	当該道路は市道畜産試験場柳沢線になります。現地確認の上施工方法を検討し令和3年度に対応致します。	
3	公共交通の関係で、市内に田沢湖線とIGRが通っており恵まれていると思うが、そこに行く車との連携が非常に悪いと思う。巢子駅の場合は、駐車場が朝早く行っても通勤者が使っていてほとんど満車で使えない。大釜駅にしても小岩井駅にしても滝沢駅にしても駐車場がない。有料でもいいと思うので、駐車場を整備してもらって、そこまで車で行った後に乗り継ぎという形で出来れば良い。通勤者は通勤手当等もらっているの、一定額の利用率にして、病院に行き帰ってくる場合は一定時間無料だと使いやすい。市の土地はないと思うので、民間の土地を借り上げるなり買うなりして出来るだけ駐車場を確保して欲しい。そうすれば各駅の利用者が増えるのではないかと考えている。 新たな用地のための資金として有料化にしてもいいのではないかと。	資料の「今後の公共交通の在り方について」図のところでは、基幹となるバス停や鉄道駅までは何とか行って、そこで乗り換えて中央に行こうという構想である。そこに駐車場ということだが今後検討していきたい。巢子駅の駐車場について、いつも満車ということだが、有料にしたら空くのか、使いたい人が使える状況になるのかということも検討していかなくてはならない。有料が空く方法になるのか検討していきたい。 調査したところ、近くの人が停めるケースもある。 有料化するためには、機械設備を整備しなければならない。しかし、課題解決のためには投資も必要と思う。巢子駅は当初倍の面積の駐車面積を計画していた。現在、利用者アンケートをとっており検討していく。	都市政策課	—	
4	桑原さんの息子さんが大相撲で頑張っている。秋良は良い成績で序二段となって益々期待される。柳沢だけではなく、市全体で盛り上げて欲しい。 提案ですが、岩手山麓ウォーキングコースを作ってノルディックウォーキングを行ってはいかがか。市民の運動として講師を招き、公認コースとして全国大会など開催し、数万人の来市者も期待される。コロナ禍でなかなか厳しいと思うが検討いただきたい。	秋良君は笑顔の素晴らしい力士であり、市長室に来て激励し送り出した。滝沢市出身のプロスポーツ選手は他にも結構いる。応援していきたい。 ウォーキングはお金もかからず運動できる。ウォーキングマップを現在作成中である。地域地域にウォーキングコースがある。ウォーキングと健康について数値をもって表すことを検討している。健幸アンバサダーと合わせて検討する。岩手山一周のトレッキングコースを作ってはどうかと思っている。	生涯学習スポーツ課 健康づくり政策課	生涯学習推進計画学びプラン たきざわにおいてアスリート育成強化と競技スポーツ振興を掲げています。市体育協会や種目別協会、地域スポーツクラブ、商工会、企業、盛岡広域市町などと連携・協働しながらトップアスリートの輩出と応援に取り組んで参ります。 ウォーキングについては、取り組んだ場合の成果が個人により異なるため、取り組んだ方々個々の状況の計測が必要となります。本市では、令和3年1月から、ウォーキングへの取り組みと、取組結果を把握できる仕組みを持った事業として「滝沢市健幸ウォーキングトライアル事業」を実施しますので、ぜひご参加ください。	

5	<p>旧分レから木賊川の信号までの間、県道から市道となったが、非常に狭い道路であり、大型車2台がすれ違くと非常に怖い。大石渡の40軒位は道路に出るのが怖い。バスに乗るために木賊川交差点まで歩かなきゃならない。木賊川へ行くのに4号線を行けば歩道はあると言われる。40年前から歩道を要望している。小中学生は登下校を自転車で行けないので諦めて車で送っている。</p>	<p>県道から市道へなった道路であり、歩道について必要と捉えている。国の交付金で整備している状況であるが、東小から巣子への道路など歩道をつけたいがなかなか整備できていない状況である。歩道を作るという観点から、空間調査を巣子で実施する。研究しながら整備計画に載せていきたい。</p>	道路課	-	
6	<p>同じ路線の防犯灯について、昨年度市の方に防犯灯が切れていると言ったが一向に変わっていない。木柱の防犯灯である。</p>	<p>再度調査し対応させていただく。</p>	防災防犯課	<p>再度確認し、今年度中に対応させていただきます。</p>	

⑨ 滝沢ニュータウン自治会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	自家用車について、1日2,000円の維持費がかかるのは車の購入費も含まれるなど過大評価ではないか。また、配布資料の中で、イオンモールへの経路案内が乗っている。往復800円となる。車持った方が良い。公共交通を使いたくても使えない。	維持費について、ジャーナリストのお話を引用している。首都圏であれば駐車場代などもかかるのでそういった経費も含まれていると思われる。 イオンモールへ直通のバスはないが、公共交通は乗り継ぎをしながら移動することを指す。利用していかなければその公共交通は無くなるということを示している。	都市政策課	—	
2	この条例によって、何ができるのか。	地元商工会、農協や観光協会など話し合いながら作っていき、人が変わっても統一した見解で将来へ向けた方向性としてほしい。本条例に基づいて総合計画や実行計画を基に検証していく。	企業振興課	—	
3	今現在誘致している企業はあるのか。誘致するにしても、農業、工業、商業様々ある。滝沢市は何を目的に何を誘致するか戦略があるのか。休耕田を一面コスモス畑にして観光地とするとか、誘致するための戦略として観光スポットや目玉が必要である。	イノベーションセンターへIT企業を誘致している。第1イノベーションセンターは残り1室のみ空いている状況であり、第2イノベーションセンターは全て入居されている。その他にイノベーションパークがあり、3社を誘致し、4区画購入いただいている。 誘致するためには相当の条件があり、将来的に存続する企業かどうか、食料品製造業や人材供給が豊富な大学と連携した企業の誘致などがある。コロナ禍でリモートワークが進む中、首都圏ではなく滝沢市でも仕事ができる。そういったことも誘致に結び付けていきたい。	企業振興課	—	
4	盛岡市は、高齢者へバスのパスを定額で配布している。そういった制度を滝沢市でも導入できないか。例えば、先人記念館に行く場合高齢者は無料である。	検討させていただきたい。	高齢者支援課 都市政策課	—	
5	将来のことについて、路面電車というのも一つの成功例ではないか。40万人都市で成功している事例もある。	レール、電線があり、その特徴が滝沢市に合うのかどうか、検討が必要となる。現在検討していないが新たなこととして検討しなければならない。	都市政策課	—	
6	公共交通について、盛岡市と滝沢市の行き来は多いが、巣子まで直通のバスがない。もう少し便利さがあっても良いのではないか。バスと電車で乗り換えると結構時間がかかる。	不便さについては昔から変わっていない。南・東・西の交通をどうしたらいいか。中心市街地とそれらの地域を結ぶ。まずは人の行き来を作り、公共交通へ発展させる。そのように考えている。	都市政策課	—	
7	高齢者としてバスを利用をするが、時刻表や料金表など家庭にあればいいと思う。料金・時刻がわかりやすい一覧表などがあれば良いと思う。	時刻表は何千とあり配布は難しいので、写真を撮るとかスマホでアプリを見るなど対応して欲しいが、そのような意見があったことをバス事業者に伝えたい。	都市政策課	—	

8	<p>市で空き家の調査をしていただいたが、その結果をどう反映するのか、自治会への情報提供はあるのか。雑草が生えっぱなしの空地が放置されており、虫が非常に発生し、環境課に対応いただいた。通路に出ている部分の草刈りは出来るが中の敷地内の草はどうしたら良いか。所有者は県内の方ということだが、隣は食べ物屋であり、虫と生活しなければならないのか。</p>	<p>空き家調査について、当初280件前後であったが、平成30年度1,000件ということで見込まれ、今現在調査している。水道閉栓状況など地域の情報により、所有者の方に通知をしている。まずは空家をどうするか調査している。その調査について、可能な範囲で自治会と共有したい。来年度計画を策定する。崩れかけた空家には法定協議会により特定空家と指定し、強い指示を出せるなど検討を進めてまいりたい。</p> <p>空き地について市民環境部で対応している。空家には特措法が出来たが、空き地については市町村職員、所有者や被害にあわれている方と調整しながら解決するなどするしかない。それでも職員は対応するので一緒に解決に向けて取り組んでいきたい。</p>	都市政策課 環境課	-	
9	<p>昨年度も話をしたが、一人暮らしの方など要援護者名簿に載っており、自治会に配られるが、班長に配りたいが個人情報となる。要援護者名簿をどのように扱うのか。個人情報ではあるが有効に活用したい。</p>	<p>担当課で検討していると思うが、その方向性について自治会長にお知らせしたい。</p>	地域福祉課	<p>避難行動要支援者台帳登録者名簿は支援に携わる関係者に限定して活用いただいております。自治会の情報管理用として年1回の名簿更新の際に一緒にお渡ししている「滝沢市避難行動要支援者支援計画推進マニュアル」にも記載していますが、名簿の複製（コピー）は管理が行き届かなくなる可能性が高いのでご遠慮いただいております。</p> <p>なお、災害対策基本法第49条の12には「名簿情報の漏えい防止と権利利益の保護」が規定されています。あわせて、同法第49条の13には「当該名簿を利用して避難支援等の実施に携わる者又はこれらの者であった者は、正当な理由がなく、知り得た秘密を漏らしてはならない」と規定されていますので、名簿を取り扱う場合は、（現職に限らず）班長も含めてこの点を十分に確認いただき、活用をお願いいたします。</p>	
10	<p>一本木の方から来る人達は、バス無いから催し物をしても来ることができない。滝沢駅前の人は電車とバスで来るが、踊りに出る人も見る人も減っています。</p>	<p>小需要地域の新たな公共交通として検討してまいりたい。</p>	都市政策課	-	
11	<p>公共交通の利用運賃の補助について来年度もあるのか。</p>	<p>コロナ禍における利用者の減ということで、交通事業者の経営圧迫と利用者への補助という観点で年内の事業である。</p>	都市政策課	-	

12	<p>コロナ禍において、飲食に関するポイント還元等対策はあるか。</p>	<p>肥育農家への補助、企業への無利子融資なども行っている。また、飲食店や理美容社に対して千円で1,500円分のチケットとなる制度を行っている。各店で200セット用意している。実施を希望する店によって実施されている。また、既に完売している店もある。</p>	<p>企業振興課</p>	<p>—</p>	
13	<p>1工区の公園のそばであるが、上の方から子供たちが公園に来る。新しい住宅が増えて子供たちが増えており、子供たちが下校後に走ってくるので標識等設置して欲しい。</p>	<p>場所を確認し、飛び出し注意の看板など設置を検討したい。</p>	<p>防災防犯課 道路課</p>	<p>飛び出し注意など、交通安全に係る注意喚起等の看板につきましては、基本的に自治会など地域での設置をお願いしております。</p>	

⑩ 大釜地域づくり推進会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	高森に住んでいるが、公共交通機関を利用して市役所に行くとなると盛岡駅経由となる。滝沢市中心の公共交通であったり、まちづくりであったり変えていかなければならないと思う。市のまちづくり全体から見ていかなければならない。 小岩井駅から滝沢駅に向かうバス路線があれば市役所にも行きやすくなる。	まちづくり全体、中心市街地を考えていかなければならない。行政手続き、買い物、勉強などできる中心市街地を作り、各地域と結び人の流れを作れば公共交通も発達してくる。 タクシーも公共交通機関として捉え、乗合いタクシーを利用して、東・西・中心市街地と結び交通網を整えていきたい。	都市政策課	—	
2	公共交通機関を積極的に利用したいが、高齢者となると免許返納もある。利用運賃の補助というのもあるが、現在の申請数等があれば教えていただきたい。	上限5,000件を見込んでいる。現在は約半分程度の申請となっている。ぜひ、周知いただき申請いただければと思う。	都市政策課	—	
3	雫石町でタクシーの制度を利用している。町内だけであるが1回200円である。大釜から市役所までタクシーを利用する方法や、小岩井からバスをこまめに走らしていただければと思う。	雫石町の事例ですが、もともとあったバス路線が廃止となったことから、デマンドタクシーを運行することになったものである。費用として年間数千円かかっているとのことである。小需要地域の新たな交通として研究し、全市内で需要があるのかニーズがあるのかを捉えて適正に対応していきたい。	都市政策課	—	
4	北上とか金ヶ崎のように大きな企業が入ってきているが、滝沢市に大きな企業が入ってこないのはなぜか。	北上市などは大きな工業団地がある。滝沢市には盛岡西リサーチパークがあるが全て入居しており、イノベーションセンターについてはIT企業が1室を除き入居している。イノベーションパークについては9販売区画中4区画の誘致をしている。大きな企業を誘致するにも土地利用があり、都市計画法や農地法などの規制がある。	企業振興課	—	
5	①市役所から民生委員や国勢調査の推薦依頼があるが、昨年度大釜南自治会から3名の推薦をしたが、現役の民生委員1名が再選を拒否された。市から要請があって苦労して推薦しているが、拒否となったことを文書ではなく口頭で伝えられたこと、選挙での政治活動が拒否された理由のようであるが、それが理由であれば現役の民生委員はその時点で解任されるべきではないかと思う。県に問合せしたところ後援会長に就任したことが事由にはあたらないとのことであった。現在、1名欠員であることから、再び市から推薦要請があった。そこでまた推薦をしたが、民生委員推薦会の職務上の地位を利用して政治目的を乱用しているのではないかと思う。その見解をお聞きしたい。 また、民生委員推薦会のメンバーについてホームページ等で公表されていない。推薦会がいつ開催され、何人出席し成立したのかもわからない。他の事例として推薦会をしないで問題となったという事例が新聞に載ったこともある。 審査する人が情報保護され、推薦される民生委員がプライバシーまで審査されているのはおかしいのではないか。 ②委員については公表できるということだが、議事録についてはいかがか。 ③民生委員協議会からも推薦会に入っているが、自分を選ぶということはあり得ないので席を外していると思うがいかがか。 ④民生委員はホームページで公開されている。推薦会委員は報酬をもらっている。それなのに名前は公表されない。また、拒否された事由について書面で回答いただきたい。 ⑤推薦会で決定したことを本人が取り下げたということにしているか。	①民生委員は各地区で欠員が生じている。民生委員は大変な職務であり、民生委員は欠員のないようにしたい。 民生委員推薦会については、昨年度5回開催しており、各自治会から推薦された方について協議し、県に推薦している。民生委員推薦会のメンバーは、ホームページには掲載していないが、公開できる内容ですので、お問合せがあれば提示できる。現在7名の推薦会委員がおり、推薦会規則で民生委員から1名、社会福祉事業に係るもの、社会福祉関係団体役員、教育委員会委員、民生主管部門の長、自治会連合会役員と定めている。以前は議会議員からも出ていたが、民生委員法改正により議会からは推薦しないこととなっている。以上のことにより市長から委嘱されている。 ②委員については情報公開できます。会議録は非公開とし、国の通知により非公開と規則で定めている。 ③市の推薦会規則では、民生児童委員協議会から推薦会の委員となっており、ご本人も推薦会に諮られている。協議して決定している。 ④推薦会委員については、これまでホームページで公開をしていない。今後については積極的に公開してまいりたい。会議の内容については非公開となっているが、推薦して県に進達したかどうかについては文書でお示ししたい。 ⑤本人が取り下げたということにはしておりません。推薦会で決定したものを県に進達したものである。	地域福祉課	民生委員推薦会について、「民生委員推薦会の趣旨」「開催状況」「推薦会委員」「関係規則」を12月1日付で市のホームページに掲載しました。	

6	地域として、福祉のため様々な事業を行い、民生委員として推薦されて、地域で頑張っている。公職選挙法や選挙管理委員会に聞きながら、皆さんに迷惑かけないようにしているのに、推薦拒否について文書ではなく口頭で言われた。自由・権利を無視しており、一切市のことに応えられないと言いたくなる。あまりにも独断で、推薦会の決定ですと言われた。自治会役員一同としては、2名の民生委員に負担をかけているという思いがある。国の方まで、もしくは新聞沙汰となることも含めて十分に審議をして欲しい。	市長として、民生委員は重要であり欠員の無いようにしたい。法律、条令、規則等県知事への推薦について市町村長の権限は無い。民生委員推薦会のメンバーについては関与している。県の決定は推薦会の決定を参考にしている。 各委員についても自治会にお願いしている。今後ともよろしくお願いしたい。	地域福祉課	—	
7	行政は縦割るか横の繋がりがああるか。水道、道路、繋がりが無いのではないか。巣子で工事した際、30cm掘ったとき水止めが出てきた。地元の人にはわかっているが図面も無いとのことであった。舗装かけたからこうなったということで、水道の事故あったらどうするのか。市役所行って何回も手続きにかかることもある。	庁内で情報共有をしっかりと行っている。部長ミーティングなどにより連携を図っている。縦割りの良さもあるが、横の連携もしっかりやっていく。	—	—	
8	篠木小から前看護短大までの道路の交通量が非常に多くなってきている。途中の参郷の森からの交差点の改善をお願いしたい。数年前に住宅火災があったが、その交差点も見通しが悪い。車も多く通り、子供たちも多く通る。また、悪い具合に角に消火栓がある。冬見えない。交差点と消火栓の改修をお願いしたい。	場所を確認し対応したい。	道路課 防災防犯課	現地確認を行い、調査及び施工について検討を進めて参ります。 道路舗装端から離れて消火栓を設置しており標識もあることから支障はないと思われます。	12月18日 現地確認
9	産業振興条例について、農業が入っていないのはどういうことか。農業も立派な産業である。	説明不足していたが、農業も含めて産業振興条例である。	企業振興課	—	
10	大釜駅周辺の開発について、他市町村でも駅を利用しながら周辺を開発しているケースが多い。大釜駅周辺の開発についてどのようにお考えか。	今は中心市街地を進めたい。当面は中心市街地作っていきたい。農地が多いと農地転用や線引き等課題もある。これを最優先で進め、各地区では徒歩で生活できるよう進めていきたい。	都市政策課	—	

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	まずは御礼ですが、長年要望してきた中学生通学路の防犯灯について、12月入札、3月完成ということで大変感謝している。	—	防災防犯課	—	
2	主要地方道盛岡環状線について、両側歩道が商工会から南へ着工なるようであるが、大沢保育園に入るT字路のところについて北方面から大沢保育園に入る車が多いため環状線が大変混み合う。両側歩道について市として要望して欲しいという県の話であった。市として県に要望をしていただきたい。 両側歩道に合わせ、右折レーンを付けて欲しい。	県は市から要望を上げて欲しいということだが、市の優先順位をつけ県に要望していく。	道路課	—	
3	集落センターについて、年間3,000円/1世帯で維持している。土地は市、建物は自治会となっている。農業振興組合管理から自治会管理となっている。建物について市の方に寄付したい。ぜひ検討いただきたい。不可能であれば、法人化などして維持管理、補助などもご指導いただきたい。	各自治会の中で集会所が無いところもある。今後の方向性について担当部に伝える。	地域づくり推進課	地域の活動拠点となる集会所については、地域活動の拠点として、また地域コミュニティ形成の場として重要であると考えています。各自治会に集会所等の拠点が整備されるよう支援するとともに、各集会所の維持管理に必要な支援ができるように努めてまいりたいと思います。なお、集会施設の整備にあたっては補助金がございますので、改修や建替え等を希望する自治会や集会所を管理する団体のご意見を伺いながら、必要な措置が講じられるよう、予算化を図ってまいります。	
4	ストックヤードについて、越前堰より上の方は2箇所設置しているが、下の方は規制などがある。各課をあげて取り組んでいただきたい。JAの一角を借りようとしたが、都市計画で規制があるとのことで、民地等土地の交渉は出来るが書類申請関係はなかなか難しいので指導等いただきたい。地域づくり推進課に手続きをお願いしている。	ゴミ減量化ということでストックヤードの設置を進めたい。建築確認の費用より、県や他への申請など申請関係が大変とのことで確認する。	地域づくり推進課 環境課	ストックヤードの設置に当たり、建築確認申請が必要な場合は、引き続き地域づくり推進課、環境課及び都市政策課で連携を図り、相談、支援等体制の充実に努めてまいります。	
5	小学生の通学路について、とても狭い道路を通っている。非常に狭い。脇に寄らないと車は通れない。スクールガードが注意しながら登下校させている。拡幅は難しければ側溝整備等出来ないか。	場所を特定し、側溝を入れれば良いのか、他に方法が無いのか検討していきたい。	道路課	詳細な場所等の聴き取りを行い、所有者等を調査のうえ後日回答することとしました。	12月18日 齊藤会長に聴き取り
6	地域資源保全組合として、多面的機能に取り組み、長寿命化を進めている。U字溝や水路の蓋に取り組んでいる。国が1/2、県と市が1/4ということで取り組んでいる。森林に関して、森林対策交付金として水と森を守る会で山の刈払いをしてきた。森林については、地権者の負担、役員も会費を払い組織している。倒木処理も今後行わなければならない。大沢地内に沢が3つある。倒木によりダム化しては大沢地内は冠水してします。	6年目の再認定いただきありがとうございます。継続して予算化していきたい。森林整備については、森林環境譲与税により所有者へのアンケートしていきたい。調査を踏まえ、持続的な森林整備をしていきたい。	農林課	—	

7	大沢は独身者が非常に多い。おでんせ会議などもやっているが、また、大沢結婚支援センターを立ち上げ取り組んでいる。国の補助もあるが、3年以降は無い。様々なご援助をお願いしたい。	非常に良い取り組みであり、支援についてはどこまで可能か検討していきたい。	企画政策課	大沢結婚支援センターの取り組みについて、これまでどおり支援を行います。財源等については、国の他に補助を行っている機関等を調査します。
8	篠木との境の水路の水が多くて良く溢れる。水かさ多く道路まで溢れる。水路が深い。本流から分れたところである。	私が現地を確認し良い方法について検討していきたい。	農林課	—
9	①公共交通について、補助ということだが予算が無くなれば期限前に終了となるのか。 ②高齢者が免許返納した際に、公共交通機関が無料になるとか、ポイント制や今回のような補助とかあれば良いと思う。	①予算の中で執行しているが、いつまでが期限になるか変更を告知しようと考えている。今現在5,000件予定のうち、約半分の申請状況と捉えている。 ②小需要交通というところで、実証実験しながらニーズを把握し、不公平感が無いかなど調査していく。アンケート調査をしながら公共交通なのか福祉なのかなども整理しながら検討していきたい。	都市政策課 高齢者支援課	—
10	県で2番目に恵まれているというが、大沢地区は便が悪い。ビッグルーフ付近は良いが、大沢はへき地ではないものの、中心部だけ良くても不便である。零石タクシーも朝や夜などドライバーがいなくなる。	運転手が不足しているのが現状である。需要が無いと公共交通は走らない。需要がどのくらいあるか調査していきたい。車を持っていれば維持費もかかる。	都市政策課	—
11	市民体育祭について、4年前こんなことがあった。スローピッチに声をかけてもらったが、あんなチームとやったら集中打をしてくるし個人を狙ってくる。自治会に入ったばかりで意味がわからなかった。まさしく、そのとおりで1回に46点入れられた。炎天下の中、嫌気がさすしかない。なぜ、全国大会やたくさんの大会に出ているチームと、楽しくやりたいというチームのレベル差があり過ぎる。このようなことがあるから若い人も二度と参加しなくなる。自治会活動にも意欲を失い、自治会の担い手にもなくなる。 スローピッチに参加しているのは12自治会である。参加しなくなった自治会はこのような体験があるからではないか。 やり方として、練習時間の無い人、公式大会ではないので様々な方々が出れるよう工夫いただきたい。提案であるが、前年度の結果に基づき一部と二部に分け、6チームずつで、一部下位と二部上位は自動入替とするという方法もある。スローピッチを一つの例としてどの種目もなぜ改善されないのか。体育祭を実施しない市もある中、滝沢市は続けることが素晴らしい。	意見として参考にします。	生涯学習スポーツ課	市民体育祭においては、令和元年度よりジョイフルスローピッチソフトボールルールの導入に伴い、表面が柔らかく安全性の高いボールの使用や1イニングの得点が5点に達したら攻守交代としワンサイドゲーム化の緩和を図るなど改善が図られており、今まで以上に誰でも楽しく安全に競技ができると考えております。

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	<p>公共交通の利用促進は賛成である。盛岡市に行くときは大釜駅に車を駐車して行くか、盛岡市で飲み会があればバスで行く。問題は時刻どおりに運行できるかどうかである。</p> <p>一昨年、バスで盛岡に行ったが、ニュータウンのマイヤの交差点の信号で、右折の際に三回も曲れないことがあった。一昨年要望したが、公安委員会に要望しているのか。ただ聞いているだけなのか。一番はマイヤのところである。次はビッグルーフのところの信号、三番目は商工会前の交差点である。</p> <p>公安委員会に要望する際に、県交通と共同で要望してはいかかか。</p>	<p>信号機に関して、要望については警察に提出していません。各地区からの要望をとりまとめ、警察に要望を提出しています。県警としては、道路の構造上、信号機の予算などをふまえ、全県下の中から選定しながら優先順位をつけて設置しています。市としても、西警察署を通じて県警本部に要望を継続して行っています。</p> <p>※市政懇談会終了後、自治会として要望いただくよう自治会長へ説明を行った。</p>	防災防犯課	<p>要望は毎年警察に提出しておりますが、右折信号を設置した場合、環状線が著しく渋滞することが懸念されるため見送りとなっております。中心拠点や道路改良等により交通量が変化した際に、信号機の制御方法等を検討するとのことです。</p> <p>今年度も警察に要望を提出いたしますので、警察からの回答があり次第、自治会にも共有させていただきます。</p>	
2	<p>右折の矢印の信号とするよう県警に要望しているかどうかを聞いているのである。前回の市政懇談会でも彼が言った話である。</p>	<p>交通安全に関する要望は、道路や信号や交差点など、内容によって関係機関や県公安委員会へ要望をしています。</p>	防災防犯課	No. 1と同様になります。	
3	<p>①産業振興も結構であるが、中心市街地によって賑わいを作ることについて、イオンのようなショッピングモールを想定しているのか。そうなればますます地元企業は苦しくなる。たきざわキッチンにも影響出るのはないか。ショッピングモールを誘致したいだろうが、コロナ禍であり、インターネット購買が増えている中、ショッピングモールは売上げが落ちてきている。また、市街化調整区域を市街化区域にする必要があるが、市街化区域にするために副市長を県から呼んでいると思う。</p> <p>②たきざわキッチンについて、10～11月はりんごなどがあるが、それ以外は何も買いたいものがない。2～3月にバナナとみかんを売っていたこともあり、品揃いが悪い。</p>	<p>①中心拠点については現在計画を進めています。市としては、ショッピングモールを誘致するのではなく、計画を立てるために市民の皆様からアンケートを頂戴しており、買う場所が欲しい、健康に関する施設や学びの場所があればいいという様々な要望によってコンセプトを定め、結いのまち滝沢を目指し作業を進めています。現在は市街化調整区域であり、都市計画区域の変更ということで、市街化区域へ変更となる見込みがある程度立っています。中心市街地が無いという課題について展開しています。</p> <p>②No.4で回答しています。</p>	都市政策課 地域づくり推進課 観光物産課	—	
4	<p>①関連して、主婦の立場として滝沢の物・特徴的な物といえば焼酎やお酒はあるが、何か贈り物をしようとした時、以前はすいかまんじゅうがあったがメインの物が無い。今は砂田屋のクイックスイートのお菓子しかない。ここに来れば滝沢の物があるというような物を作って欲しい。</p> <p>②ビッグルーフでは様々なイベントをしているが、年末年始一週間ほど暗い（営業していない）。蒼前神社では初詣があり、ビッグルーフでは何かイベントを合わせるなど検討いただきたい。</p>	<p>①周辺の産直も同じだと思われるが、冬場はなかなか野菜が生産できない状況です。ハウスにより栽培しているところもあるが燃料費もかかるためなかなか難しいです。冬場の農産物は出荷が難しい。</p> <p>産業振興について、いかに共存していくかが課題となっている。食べ物によらず、まずは地元の病院、地元の大工さんなど、地元の事業者をお願いするところから始まります。お土産についても課題と捉えています。地元のお土産が何もないところから、焼酎・日本酒・ワインといった長期保存できる物を作ってきました。菓子のラ・テールさんではクイックスイートを使ったロールケーキを作って販売いただいています。すいかまんじゅうについては、あさり菓子店さんが辞められたため無くなったものです。地元の物を買う、地域の事業者を支えるというところから始めていきたい。特産品についても、今後も市が関与しながら作っていきたい。</p> <p>②年末年始暗いということもあるが、ビッグルーフとしても節約（省エネ）を考慮しながら行っています。今後、中心拠点と合わせてライトアップなど検討していきます。</p>	観光物産課 地域づくり推進課	—	

5	<p>住んで日が浅いが3つお願いがある。</p> <p>①盛岡市で働いておりバスで通勤している。帰りが20時になるとビッググループが真っ暗である。せっかくのランドマークなのに残念である。暗い中歩いて帰る。滝沢に住んでいるのでお金を使いたくてもビッググループに滝沢の物がない。ハブ化という話があったので期待している。</p> <p>②バスで通っててのことで、市役所の東側の総合公園東側トイレについてはとても綺麗にされている。朝早く空いているが夜閉まるのが早い。せめてバスで帰ってきてトイレ利用できる時間は使わせていただければと思う。</p> <p>③ビッググループでバスを降りて市役所へ渡る横断歩道が暗い。スマホでライトを点け、警察で売っている点灯するものを点けていてもひかれそうになる。横断歩道を照らす照明や横断歩道が光るような安全対策をお願いしたい。</p>	<p>①—</p> <p>②市役所東側の総合公園東側駐車場にあるトイレについて、夜間については防犯上の観点から早めに閉めています。庁舎管理やガードマンという観点から検討します。</p> <p>③横断歩道に街路灯がありますが、後程場所をお伺いします。</p>	<p>地域づくり推進課 都市政策課 生涯学習スポーツ課 財務課</p>	<p>①ビッググループ滝沢では、新型コロナウイルス感染症対策のため、産直を含めた「たきざわキッチン」の営業時間を短縮し、現在は19時までとしております。今後、市内の感染状況等を踏まえながら指定管理者と協議してまいります。お客様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>たきざわの商品につきましては、今後も市観光協会等と連携しながら、商品の充実を図ってまいります。</p> <p>②総合公園東側トイレについて、トイレの施錠時間を20時から23時30分に変更予定です。(バスの最終時間は22時50分)</p>	<p>令和3年5月中を予定</p>
6	<p>関連して、上の山団地に帰ってくる最終バスが23時頃のようなようですが、市役所で降りて帰る時、バラ園が真っ暗である。野球場まで来れば明るくなる。せめて最終バス位までは灯りを点けていただきたい。</p>	<p>総合公園の通路については、東日本大震災の際に節電ということで点けていない状況です。お話がありましており、全灯まではいかななくても半分点灯するなど検討していきます。</p>	<p>都市政策課</p>	<p>公園通路の照明時間について、消灯時間を22時00分から24時00分に変更しました。(バスの最終時間は22時50分)</p>	<p>令和3年5月1日</p>
7	<p>中心市街地構想について素晴らしいと思う。滝沢市体育協会主催などホテルメトロポリタンやニューウイングを使用する。飲んで泊まれるような滝沢市になって欲しい。盛岡市を使っているのはもったいない。</p> <p>中心市街地構想というのはどの辺になるのか。夜街を見ると綺麗な盛岡市の夜景が見える。中心市街地ができれば滝沢市のネオンも明るく見えるようになる。</p> <p>バラ園は報道関係も来ている。体育協会で管理している。以前、お客さんから滝沢市バラ園はどこにあるのかと聞かれたことがある。入場無料のバラ園で知られてきているので、大きなアーチの設置などとして欲しい。</p>	<p>滝沢には宿泊施設は青年の家しかありません。滝沢のこれまでの生い立ちにもわかるように、国道や県道、鉄道も全て盛岡駅に向かうようになっています。盛岡に行きやすく帰りやすくなっています。よって中心市街地により滝沢で完結する環境づくりを進めたいと思います。</p> <p>中心市街地については、市役所前としています。大体の構想も出来てきています。どのような施設が良いか、市民の意見を聞きながら、市民の皆様の考えにズレが生じないように進めていきます。</p> <p>バラ園について検討させていただきます。</p>	<p>都市政策課 生涯学習スポーツ課</p>	<p>バラ園アーチの設置について、バラ園の位置が利用者にわかりやすくなるような対策を検討いたします。</p>	
8	<p>交通関係となるが、免許証の返納について、高齢化により増えていると思うが、返納者にはバスの割引券があるかないか。他自治体で行っているところがあるようである。また、バスの割引券について今後検討の余地はあるか。</p> <p>総合公園のベンチについて、5年前にベンチが汚いからペンキを塗るようメールしたらすぐ対処いただいた。あれから5年が過ぎて再び汚くなっているが、公園を管理している部署があると思うがパトロールをしているか。</p>	<p>滝沢市では免許証返納に伴う公共交通の割引制度はありません。他自治体では、免許証返納後のためではなく、免許証返納を促すために1回実施しているようです。免許証返納も大切なことですし、返納後の手段という観点から様々検討していく必要があります。</p> <p>総合公園については体育協会へ指定管理をしています。本内容について確認して対応していきたいと思っております。</p>	<p>高齢者支援課 都市政策課</p>	<p>総合公園のベンチについて、5年前に要望があったベンチはロックガーデン(ウォーターカーテン)の周りにあるパーゴラ内のベンチかと思いますが、指定管理者である市体育協会と対応を検討いたします。</p>	

9	<p>公共交通について、市民が交通機関を利用しやすいようにしないと利用度が上がらない。中心市街地が出来て11地区が行き来しやすくなれば、滝沢の中での移動がしやすくならなければ市の中での消費も進まないと思う。</p> <p>産業振興条例について、地域住民がどう幸福に結びつくか、実感しやすいようにしてあげたい。</p>	<p>公共交通は、乗りやすい環境が大事で、巢子地区の方が市役所に行くのが不便という声がありますが、需要が無いところにはバスは走らせられないので、まずは人の移動のために目的をということで、中心市街地の整備が買い物や行政手続などの目的となるということになります。</p> <p>中心市街地と11の地域の結びつきとして、中心市街地との往復・行き来が生まれれば、公共交通という可能性ができると思います。実状に合わせて進めていきます。</p> <p>この辺であれば、ビッグライフやコンビニ、マイヤなど徒歩でも買い物できますが、他の地域では店も閉店したりと商店も無く、徒歩で買い物ができない状況のところもあります。地域の事業者が生き残れるように支え、事業者の経営拡大により雇用が生まれ、地域の方が地域で働ける相互の関係構築していく必要があります。</p>	都市政策課 企業振興課	-	
10	<p>若者の定住を図るために働く場所を作って欲しい。イノベーションセンター・パークに50人や100人程の企業があればいい。また、誘致企業も大事だが、起業させる支援体制づくりも必要ではないか。</p>	<p>子や孫に滝沢の良いところや素晴らしいところを教えることが重要となります。また、IT産業の集積地として滝沢市は進めています。IT産業の他にもものづくり産業も集積したいと思っています。そして、地元企業をはじめ今ある産業をもっともっと支援していきます。</p> <p>また、滝沢市は交通の便が良く、市民の90%は10分以内に高速道路に乗ることができます。こういったことも企業へ伝えていきます。併せて、産業は地に合った産業が良く、食料品加工など6次産業も視野に入れていきます。</p>	企業振興課	-	
11	<p>すいかの産地であり、すいかのリキュールはいかがかと前市長にも言っている。他自治体では、メロンのワインや熊本ではすいかの皮で漬物を作っている。</p>	<p>以前にすいかのリキュールを作った経緯があります。すいかは瓜系なので青臭さが出て売れなかったことがありました。また、現在農業青年らによって、摘果した小玉すいかを酢漬けにしたり、薄くスライスして乾燥させチップスにしたり、お寿司屋さんではガリにして頂いているところもあります。このように、今後も特産品の開発を進めていきたいと思っています。</p>	観光物産課 農林課	-	